

令和8年度～令和12年度

局 長	課 長	係 長	検 算	設 計

公共下水道事業

尾道市浄化センターほか污水处理施設等包括的維持管理業務委託 仕様書

履 行 場 所

尾道市公共下水道事業計画区域内

## 業 務 委 託 概 要

1、 履行期間 契約締結日 ～ 令和13年3月31日

2、 履行内容 運転管理及び維持管理等業務

1 式

3、 対象施設

- ①尾道市浄化センター
- ②久保ポンプ場
- ③新高山前処理施設
- ④平原幹線マンホールポンプ場
- ⑤平原マンホールポンプ場
- ⑥倉ノ内マンホールポンプ場
- ⑦浜田地区マンホールポンプ場
- ⑧東部漁協マンホールポンプ場
- ⑨新浜幹線マンホールポンプ
- ⑩圧送幹線空気弁

# ＊本業務費＊

## 総括表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
業務委託費						
	令和 8 年度 業務委託費計	1	式			内訳表 1
	令和 9 年度 業務委託費計	1	式			内訳表 2
	令和 1 0 年度 業務委託費計	1	式			内訳表 3
	令和 1 1 年度 業務委託費計	1	式			内訳表 4
	令和 1 2 年度 業務委託費計	1	式			内訳表 5
業務委託費 計						
	消費税相当額計					
業務委託費 合計						



# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和8年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター等 維持管理費	1	式			内訳明細表1
	汚泥等処分費					
	脱水ケーキ運搬費（固形燃料）	1	式			業務仕様明細 2
	脱水ケーキ運搬費 （コンポスト施設）	1	式			業務仕様明細 2
	修繕・保守点検費					
	保守点検費	1	式			Y1006
	修繕費	1	式			業務仕様明細 1

# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
ユーティリティ費					
薬品費	1	式			Y1004
消耗品費	1	式			業務仕様明細 1
燃料費	1	式			業務仕様明細 1
電力料	1	式			Y1007
水道料・都市ガス	1	式			業務仕様明細 1
通信費	1	式			業務仕様明細 1
小計					
改め					

# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和9年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター等 維持管理費	1	式			内訳明細表1
	汚泥等処分費					
	脱水ケーキ運搬費（固形燃料）	1	式			業務仕様明細 2
	脱水ケーキ運搬費 （コンポスト施設）	1	式			業務仕様明細 2
	修繕・保守点検費					
	保守点検費	1	式			Y2006
	修繕費	1	式			業務仕様明細 1

# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
ユーティリティ費					
薬品費	1	式			Y2004
消耗品費	1	式			業務仕様明細 1
燃料費	1	式			業務仕様明細 1
電力料	1	式			Y2007
水道料・都市ガス	1	式			業務仕様明細 1
通信費	1	式			業務仕様明細 1
小計					
改め					



# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和10年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター等 維持管理費	1	式			内訳明細表1
	汚泥等処分費					
	脱水ケーキ運搬費（固形燃料）	1	式			業務仕様明細 2
	脱水ケーキ運搬費 （コンポスト施設）	1	式			業務仕様明細 2
	修繕・保守点検費					
	保守点検費	1	式			Y3006
	修繕費	1	式			業務仕様明細 1

# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
ユーティリティ費					
薬品費	1	式			Y3004
消耗品費	1	式			業務仕様明細 1
燃料費	1	式			業務仕様明細 1
電力料	1	式			Y3007
水道料・都市ガス	1	式			業務仕様明細 1
通信費	1	式			業務仕様明細 1
小計					
改め					

# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和11年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター等 維持管理費	1	式			内訳明細表1
	汚泥等処分費					
	脱水ケーキ運搬費（固形燃料）	1	式			業務仕様明細 2
	脱水ケーキ運搬費 （コンポスト施設）	1	式			業務仕様明細 2
	修繕・保守点検費					
	保守点検費	1	式			Y4006
	修繕費	1	式			業務仕様明細 1

# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
ユーティリティ費					
薬品費	1	式			Y4004
消耗品費	1	式			業務仕様明細 1
燃料費	1	式			業務仕様明細 1
電力料	1	式			Y4007
水道料・都市ガス	1	式			業務仕様明細 1
通信費	1	式			業務仕様明細 1
小計					
改め					

# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和12年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター等 維持管理費	1	式			内訳明細表1
	汚泥等処分費					
	脱水ケーキ運搬費（固形燃料）	1	式			業務仕様明細 2
	脱水ケーキ運搬費 （コンポスト施設）	1	式			業務仕様明細 2
	修繕・保守点検費					
	保守点検費	1	式			Y5006
	修繕費	1	式			業務仕様明細 1

# ＊本業務費＊

内訳表 1

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
ユーティリティ費					
薬品費	1	式			Y5004
消耗品費	1	式			業務仕様明細 1
燃料費	1	式			業務仕様明細 1
電力料	1	式			Y5007
水道料・都市ガス	1	式			業務仕様明細 1
通信費	1	式			業務仕様明細 1
小計					
改め					

内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和8年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター 維持管理費	1	式			Y1001
	汚水前処理施設 維持管理費	1	式			Y1002
	圧送幹線空気弁点検費	1	式			Y1003
	直接業務費計					
	直接経費	1	式			
	技術経費	1	式			
	間接業務費	1	式			

内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
	業務原価計					
	諸経費					
		1	式			
	業務価格					
業務委託費計						



## Y1001 工種明細表

## 尾道市浄化センター維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
保守点検業務費	1	式			V1001
運転操作監視業務費 (通常 : 5:00~22:00)	1	式			V1002
運転操作監視業務費 (深夜 : 22:00~5:00)	1	式			V1003
汚泥処理運転操作監視業務費	1	式			V1004
水質測定業務費	1	式			V1005
事務業務費	1	式			V1006
その他の業務費	1	式			V1007
計					

## Y1002 工種明細表

## 汚水前処理施設維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
久保ポンプ場 保守点検業務費	1	式			V1008
久保ポンプ場 巡回点検業務費	1	式			V1009
久保ポンプ場 その他の業務費	1	式			V1010
平原幹線マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V1011
平原幹線マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V1012
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V1013
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V1014
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V1015
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V1016
計					

Y1003

工種明細表

圧送幹線空気弁点検費

[illegible]

## Y1004 工種明細表

## 薬品費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
低食塩次亜塩素酸ナトリウム	19,576	kg			
高分子凝集剤 (脱水機用)	2,207	kg			
高分子凝集剤 (汚泥濃縮機用)	1,544	kg			
無機系殺菌消毒剤 (固形塩素剤)	250	kg			
濾布洗浄剤	120	kg			
酸性ガス用活性炭	120	kg			
小計					
改め				0	

Y1005 工種明細表

直接經費

[illegible]

Y1006 工種明細表

保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
自家用電気工作物保安業務（尾道）	1	式			業務仕様明細 4
自家用電気工作物保安業務（久保P）	1	式			業務仕様明細 4
消防設備点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 5
消防設備点検（久保P）	1	式			業務仕様明細 5
廃液処理業務委託	1	式			業務仕様明細 6
計装設備点検業務 （浄化センター、久保ポンプ場）	1	式			業務仕様明細 7
水質計測器点検業務	1	式			業務仕様明細 8
環境調査（臭気測定）	1	式			業務仕様明細 9
芝生除草剤散布業務	1	式			業務仕様明細 10

Y1006 工種明細表

保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
除草せん定業務	1	式			業務仕様明細 1 1
管理棟清掃業務	1	式			業務仕様明細 1 2
水質・汚泥分析費	1	式			業務仕様明細 1 3
地下タンク及び埋設配管 定期点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 1 4
地下タンク及び埋設配管 定期点検（久保）	1	式			業務仕様明細 1 4
産業廃棄物処理業務委託 し渣、廃プラ等	1	式			業務仕様明細 6
計					
改め					

## Y1007 工種明細表

電力料

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
尾道市浄化センター	1	式			業務仕様明細 3
新高山前処理施設	1	式			業務仕様明細 3
マンホールポンプ	1	式			業務仕様明細 3
計					
改め					



V1001

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 保守点検業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1002

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター					
[規格] 運転操作監視業務 《通常：5:00～22:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1003

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター					
[規格] 運転操作監視業務 《深夜：22:00～5:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1004

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 汚泥処理運転操作監視業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1005

## 代価表

[illegible]

V1006

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 事務業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		

V1007

# 代価表

[illegible]

V1008

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		



V1009

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1010

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場その他の業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		

V1011

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 平原幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1012

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 平原幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1013

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1014

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1015

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V1016

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		



## 代価表

[illegible]

V1018

代価表

[illegible]

V1019

代価表

[illegible]

V1020

代価表

[illegible]

内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和9年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター 維持管理費	1	式			Y2001
	汚水前処理施設 維持管理費	1	式			Y2002
	圧送幹線空気弁点検費	1	式			Y2003
	直接業務費計					
	直接経費	1	式			
	技術経費	1	式			
	間接業務費	1	式			

内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
	業務原価計					
	諸経費					
		1	式			
	業務価格					
業務委託費計						

## Y2001 工種明細表

## 尾道市浄化センター維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
保守点検業務費	1	式			V2001
運転操作監視業務費 (通常 : 5:00~22:00)	1	式			V2002
運転操作監視業務費 (深夜 : 22:00~5:00)	1	式			V2003
汚泥処理運転操作監視業務費	1	式			V2004
水質測定業務費	1	式			V2005
事務業務費	1	式			V2006
その他の業務費	1	式			V2007
計					

Y2002 工種明細表

汚水前処理施設維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
久保ポンプ場 保守点検業務費	1	式			V2008
久保ポンプ場 巡回点検業務費	1	式			V2009
久保ポンプ場 その他の業務費	1	式			V2010
平原幹線マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V2011
平原幹線マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V2012
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V2013
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V2014
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V2015
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V2016
計					



Y2003

工種明細表

圧送幹線空気弁点検費

[illegible]

## Y2004 工種明細表

## 薬品費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
低食塩次亜塩素酸ナトリウム	19,576	kg			
高分子凝集剤 (脱水機用)	2,207	kg			
高分子凝集剤 (汚泥濃縮機用)	1,544	kg			
無機系殺菌消毒剤 (固形塩素剤)	250	kg			
濾布洗浄剤	120	kg			
酸性ガス用活性炭	120	kg			
小計					
改め					

Y2005 工種明細表

直接經費

[illegible]

## Y2006 工種明細表

## 保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
自家用電気工作物保安業務（尾道）	1	式			業務仕様明細 4
自家用電気工作物保安業務（久保P）	1	式			業務仕様明細 4
消防設備点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 5
消防設備点検（久保P）	1	式			業務仕様明細 5
廃液処理業務委託	1	式			業務仕様明細 6
計装設備点検業務 （浄化センター、久保ポンプ場）	1	式			業務仕様明細 7
水質計測器点検業務	1	式			業務仕様明細 8
環境調査（臭気測定）	1	式			業務仕様明細 9
芝生除草剤散布業務	1	式			業務仕様明細 10

## Y2006 工種明細表

## 保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
除草せん定業務	1	式			業務仕様明細 1 1
管理棟清掃業務	1	式			業務仕様明細 1 2
水質・汚泥分析費	1	式			業務仕様明細 1 3
地下タンク及び埋設配管 定期点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 1 4
地下タンク及び埋設配管 定期点検（久保）	1	式			業務仕様明細 1 4
産業廃棄物処理業務委託 し渣、廃プラ等	1	式			業務仕様明細 6
計					
改め					

## Y2007 工種明細表

電力料

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
尾道市浄化センター	1	式			業務仕様明細 3
新高山前処理施設	1	式			業務仕様明細 3
マンホールポンプ	1	式			業務仕様明細 3
計					
改め					

V2001

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 保守点検業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2002

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 運転操作監視業務 《通常：5:00～22:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		



V2003

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター					
[規格] 運転操作監視業務 《深夜：22:00～5:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2004

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 汚泥処理運転操作監視業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2005

代価表

[illegible]

V2006

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 事務業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		

V2007

代価表

[illegible]

V2008

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2009

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2010

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場その他の業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		



V2011

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 平原幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2012

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 平原幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2013

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2014

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2015

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V2016

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

代価表

[illegible]

V2018

# 代価表

[illegible]



V2019

代価表

[illegible]

V2020

代価表

[illegible]

内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和10年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター 維持管理費	1	式			Y3001
	汚水前処理施設 維持管理費	1	式			Y3002
	圧送幹線空気弁点検費	1	式			Y3003
	直接業務費計					
	直接経費	1	式			
	技術経費	1	式			
	間接業務費	1	式			

内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
	業務原価計					
	諸経費					
		1	式			
	業務価格					
業務委託費計						

## Y3001 工種明細表

## 尾道市浄化センター維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
保守点検業務費	1	式			V3001
運転操作監視業務費 (通常 : 5:00~22:00)	1	式			V3002
運転操作監視業務費 (深夜 : 22:00~5:00)	1	式			V3003
汚泥処理運転操作監視業務費	1	式			V3004
水質測定業務費	1	式			V3005
事務業務費	1	式			V3006
その他の業務費	1	式			V3007
計					

## Y3002 工種明細表

## 汚水前処理施設維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
久保ポンプ場 保守点検業務費	1	式			V3008
久保ポンプ場 巡回点検業務費	1	式			V3009
久保ポンプ場 その他の業務費	1	式			V3010
平原幹線マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V3011
平原幹線マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V3012
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V3013
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V3014
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V3015
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V3016
計					

Y3003

## 工種明細表

圧送幹線空気弁点検費

[illegible]

## Y3004 工種明細表

## 薬品費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
低食塩次亜塩素酸ナトリウム	19,576	kg			
高分子凝集剤 (脱水機用)	2,207	kg			
高分子凝集剤 (汚泥濃縮機用)	1,544	kg			
無機系殺菌消毒剤 (固形塩素剤)	250	kg			
濾布洗浄剤	120	kg			
酸性ガス用活性炭	120	kg			
小計					
改め					



Y3005

工種明細表

直接經費

[illegible]

## Y3006 工種明細表

## 保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
自家用電気工作物保安業務（尾道）	1	式			業務仕様明細 4
自家用電気工作物保安業務（久保P）	1	式			業務仕様明細 4
消防設備点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 5
消防設備点検（久保P）	1	式			業務仕様明細 5
廃液処理業務委託	1	式			業務仕様明細 6
計装設備点検業務 （浄化センター、久保ポンプ場）	1	式			業務仕様明細 7
水質計測器点検業務	1	式			業務仕様明細 8
環境調査（臭気測定）	1	式			業務仕様明細 9
芝生除草剤散布業務	1	式			業務仕様明細 10

## Y3006 工種明細表

## 保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
除草せん定業務	1	式			業務仕様明細 1 1
管理棟清掃業務	1	式			業務仕様明細 1 2
水質・汚泥分析費	1	式			業務仕様明細 1 3
地下タンク及び埋設配管 定期点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 1 4
地下タンク及び埋設配管 定期点検（久保）	1	式			業務仕様明細 1 4
産業廃棄物処理業務委託 し渣、廃プラ等	1	式			業務仕様明細 6
計					
改め					

## Y3007 工種明細表

電力料

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
尾道市浄化センター	1	式			業務仕様明細 3
新高山前処理施設	1	式			業務仕様明細 3
マンホールポンプ	1	式			業務仕様明細 3
計					
改め					

V3001

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 保守点検業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V3002

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 運転操作監視業務 《通常：5:00～22:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V3003

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター					
[規格] 運転操作監視業務 《深夜：22:00～5:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V3004

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 汚泥処理運転操作監視業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		



V3005

# 代価表

[illegible]

V3006

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 事務業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		

V3007

代價表

[illegible]

V3008

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V3009

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V3010

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場その他の業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		

V3011

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 平原幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V3012

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 平原幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		



V3013

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V3014

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V3015

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V3016

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

## 代価表

[illegible]

V3018

代價表

[illegible]

V3019

# 代価表

[illegible]

V3020

代価表

[illegible]



内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和11年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター 維持管理費	1	式			Y4001
	汚水前処理施設 維持管理費	1	式			Y4002
	圧送幹線空気弁点検費	1	式			Y4003
	直接業務費計					
	直接経費	1	式			
	技術経費	1	式			
	間接業務費	1	式			

内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
	業務原価計					
	諸経費					
		1	式			
	業務価格					
業務委託費計						

## Y4001 工種明細表

## 尾道市浄化センター維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
保守点検業務費	1	式			V4001
運転操作監視業務費 (通常 : 5:00~22:00)	1	式			V4002
運転操作監視業務費 (深夜 : 22:00~5:00)	1	式			V4003
汚泥処理運転操作監視業務費	1	式			V4004
水質測定業務費	1	式			V4005
事務業務費	1	式			V4006
その他の業務費	1	式			V4007
計					

## Y4002 工種明細表

## 汚水前処理施設維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
久保ポンプ場 保守点検業務費	1	式			V4008
久保ポンプ場 巡回点検業務費	1	式			V4009
久保ポンプ場 その他の業務費	1	式			V4010
平原幹線マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V4011
平原幹線マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V4012
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V4013
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V4014
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V4015
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V4016
計					

Y4003 工種明細表

## Y4003 工種明細表

圧送幹線空気弁点検費

[illegible]

## Y4004 工種明細表

## 薬品費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
低食塩次亜塩素酸ナトリウム	19,576	kg			
高分子凝集剤 (脱水機用)	2,207	kg			
高分子凝集剤 (汚泥濃縮機用)	1,544	kg			
無機系殺菌消毒剤 (固形塩素剤)	250	kg			
濾布洗浄剤	120	kg			
酸性ガス用活性炭	120	kg			
小計					
改め					

Y4005 工種明細表

直接經費

[illegible]

## Y4006 工種明細表

## 保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
自家用電気工作物保安業務（尾道）	1	式			業務仕様明細 4
自家用電気工作物保安業務（久保P）	1	式			業務仕様明細 4
消防設備点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 5
消防設備点検（久保P）	1	式			業務仕様明細 5
廃液処理業務委託	1	式			業務仕様明細 6
計装設備点検業務 （浄化センター、久保ポンプ場）	1	式			業務仕様明細 7
水質計測器点検業務	1	式			業務仕様明細 8
環境調査（臭気測定）	1	式			業務仕様明細 9
芝生除草剤散布業務	1	式			業務仕様明細 10



## Y4006 工種明細表

## 保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
除草せん定業務	1	式			業務仕様明細 1 1
管理棟清掃業務	1	式			業務仕様明細 1 2
水質・汚泥分析費	1	式			業務仕様明細 1 3
地下タンク及び埋設配管 定期点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 1 4
地下タンク及び埋設配管 定期点検（久保）	1	式			業務仕様明細 1 4
産業廃棄物処理業務委託 し渣、廃プラ等	1	式			業務仕様明細 6
計					
改め					

## Y4007 工種明細表

電力料

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
尾道市浄化センター	1	式			業務仕様明細 3
新高山前処理施設	1	式			業務仕様明細 3
マンホールポンプ	1	式			業務仕様明細 3
計					
改め					

V4001

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 保守点検業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4002

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター					
[規格] 運転操作監視業務 《通常：5:00～22:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4003

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター					
[規格] 運転操作監視業務 《深夜：22:00～5:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4004

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 汚泥処理運転操作監視業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4005

代価表

[illegible]

V4006

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 事務業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		



V4007

# 代価表

[illegible]

V4008

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4009

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4010

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場その他の業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		

V4011

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 平原幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4012

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 平原幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4013

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4014

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		



V4015

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V4016

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

代価表

[illegible]

V4018

代価表

[illegible]

V4019

代価表

[illegible]

V4020

代価表

[illegible]

内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
令和12年度 業務委託費						
	直接業務費					
	尾道市浄化センター 維持管理費	1	式			Y5001
	汚水前処理施設 維持管理費	1	式			Y5002
	圧送幹線空気弁点検費	1	式			Y5003
	直接業務費計					
	直接経費	1	式			
	技術経費	1	式			
	間接業務費	1	式			

内訳明細表 1

費目・工種・施工明細など		数量	単位	単価	金額	備考
	業務原価計					
	諸経費					
		1	式			
	業務価格					
業務委託費計						



## Y5001 工種明細表

## 尾道市浄化センター維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
保守点検業務費	1	式			V5001
運転操作監視業務費 (通常 : 5:00~22:00)	1	式			V5002
運転操作監視業務費 (深夜 : 22:00~5:00)	1	式			V5003
汚泥処理運転操作監視業務費	1	式			V5004
水質測定業務費	1	式			V5005
事務業務費	1	式			V5006
その他の業務費	1	式			V5007
計					

## Y5002 工種明細表

## 汚水前処理施設維持管理費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
久保ポンプ場 保守点検業務費	1	式			V5008
久保ポンプ場 巡回点検業務費	1	式			V5009
久保ポンプ場 その他の業務費	1	式			V5010
平原幹線マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V5011
平原幹線マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V5012
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V5013
新高山前処理施設外 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V5014
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 保守点検業務費	1	式			V5015
新浜幹線マンホールポンプ 各マンホールポンプ 巡回点検業務費	1	式			V5016
計					

工種明細表

圧送幹線空気弁点検費

[illegible]

## Y5004 工種明細表

## 薬品費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
低食塩次亜塩素酸ナトリウム	19,576	kg			
高分子凝集剤 (脱水機用)	2,207	kg			
高分子凝集剤 (汚泥濃縮機用)	1,544	kg			
無機系殺菌消毒剤 (固形塩素剤)	250	kg			
濾布洗浄剤	120	kg			
酸性ガス用活性炭	120	kg			
小計					
改め					

Y5005 工種明細表

直接經費

[illegible]

Y5006 工種明細表

保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
自家用電気工作物保安業務（尾道）	1	式			業務仕様明細 4
自家用電気工作物保安業務（久保P）	1	式			業務仕様明細 4
消防設備点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 5
消防設備点検（久保P）	1	式			業務仕様明細 5
廃液処理業務委託	1	式			業務仕様明細 6
計装設備点検業務 （浄化センター、久保ポンプ場）	1	式			業務仕様明細7 計装設備保守点検業務設計書
水質計測器点検業務	1	式			業務仕様明細 8 水質計測器保守点検業務設計書
環境調査（臭気測定）	1	式			業務仕様明細 9
芝生除草剤散布業務	1	式			業務仕様明細 1 0

Y5006 工種明細表

保守点検費

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
除草せん定業務	1	式			業務仕様明細 1 1
管理棟清掃業務	1	式			業務仕様明細 1 2
水質・汚泥分析費	1	式			業務仕様明細 1 3
地下タンク及び埋設配管 定期点検（尾道）	1	式			業務仕様明細 1 4
地下タンク及び埋設配管 定期点検（久保）	1	式			業務仕様明細 1 4
産業廃棄物処理業務委託 し渣、廃プラ等	1	式			業務仕様明細 6
計					
改め					

Y5007 工種明細表

電力料

費目・工種・施工明細など	数量	単位	単価	金額	備考
尾道市浄化センター	1	式			業務仕様明細 3
新高山前処理施設	1	式			業務仕様明細 3
マンホールポンプ	1	式			業務仕様明細 3
計					
改め					



V5001

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 保守点検業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5002

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター					
[規格] 運転操作監視業務 《通常：5:00～22:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5003

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター					
[規格] 運転操作監視業務 《深夜：22:00～5:00》					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5004

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 汚泥処理運転操作監視業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5005

# 代価表

[illegible]

V5006

## 代価表

[名称] 尾道市浄化センター [規格] 事務業務					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		

V5007

代価表

[illegible]

V5008

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		



V5009

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5010

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設 [規格] 久保ポンプ場その他の業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
そ の 他		人			
計					
			改め		

V5011

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 平原幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5012

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 平原幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5013

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5014

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新高山前処理施設外各マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5015

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ保守点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		

V5016

## 代価表

[名称] 汚水前処理施設					
[規格] 新浜幹線マンホールポンプ巡回点検業務費					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
総括責任者		人			
副総括責任者		人			
主 任		人			
技 術 員		人			
技 能 員		人			
計					
			改め		



## 代価表

[illegible]

V5018

# 代価表

[illegible]

V5019

代價表

[illegible]

V5020

代価表

[illegible]

## 尾道市浄化センター維持管理業務委託費積算

### 1、積算条件設定

- (1) 処理能力  
全体計画 9,750 m<sup>3</sup>/日  
現有処理施設能力 (日最大)  
主ポンプ設備 13,680 m<sup>3</sup>/日  
水処理施設 9,750 m<sup>3</sup>/日  
現在流入水量 (日平均) 5,874 m<sup>3</sup>/日

- (2) 保有設備  
水処理 : 沈砂・主ポンプ設備・水処理設備  
水処理電気設備・汚泥処理  
その他 : 管理棟設備 (空調・換気等)

- (3) 現有施設の設置後の経過年数  
水処理施設 経過年数 = 36 年

### (4) 勤務日数・管理体制

- 1) 保守点検業務  
勤務日数 = 日/年  
勤務時間 = 時間/日  
人 員 = 人  
※下水道施設維持管理積算要項 (表2-1-3 業務基準人数表)

- 2) 運転操作監視業務 (通常) (5:00~22:00)  
水処理 : 勤務場所 = 中央監視室・水処理施設  
勤務日数 = 日/年  
勤務時間 = 時間/日  
人 員 = 人

- 3) 運転操作監視業務 (深夜) (22:00~5:00)  
水処理 : 勤務場所 = 中央監視室・水処理施設  
勤務日数 = 日/年  
勤務時間 = 時間/日  
人 員 = 人

- 4) 汚泥処理運転操作監視業務  
① 汚泥処理運転操作監視業務  
勤務場所 = 機械棟  
勤務回数 = 回/年  
勤務時間 = 時間/回  
人 員 = 人

- ② 汚泥濃縮機運転操作監視業務  
勤務場所 = 機械濃縮棟  
勤務回数 = 回/年  
勤務時間 = 時間/回  
人 員 = 人

- 5) 水質測定業務  
勤務場所 = 水処理施設内  
勤務回数 = 回/年  
勤務時間 = 時間/回  
人 員 = 人

- 6) 事務業務  
勤務場所 = 尾道市浄化センター内  
勤務回数 = 回/年  
勤務時間 = 時間/回  
人 員 = 人

- 7) その他の業務  
勤務場所 = 尾道市浄化センター内  
勤務回数 = 回/年  
勤務時間 = 時間/回  
人 員 = 人

## 2、業務人数の算定

### (1) 保守点検業務人数

#### 1) 基準人数

処理施設能力 : 9,750 m3/日

保守点検業務基準人数から

基準人数 = 人/日

#### 2) 基準日数

基準日数 = 日

#### 3) 補正 (下水道施設維持管理積算要項表2-1-4 設備補正率(M1))

M1 : 設備補正 =

設 備 名		補正率
水 処 理	沈砂池設備	
	主ポンプ設備	
	水処理設備	
	送風機設備	
	水処理電気設備	
汚 泥 処 理	汚泥濃縮設備	
	汚泥脱水設備	
	汚泥処理電気設備	
そ の 他	管理棟等設備	
	脱臭設備	
	建築付帯設備	
計 (設備補正率)		

#### 水処理設備補正率内訳

設 備 名	補正率
最初沈殿池設備	
反応タンク設備	
最終沈殿池設備	
消毒設備	
場内用水設備	
計	

#### 水処理電気設備補正率内訳

設 備 名	補正率
受変電設備	
直流電源・無停電電源設備	
負荷設備	
自家発電設備	
計装設備	
監視制御設備	
計	

#### 汚泥濃縮設備補正率内訳

設 備 名	補正率
汚泥濃縮タンク設備	
機械濃縮設備	
計	

#### 汚泥処理電気設備補正率内訳

設 備 名	補正率
負荷設備	
計装設備	
計	

#### M2 : 処理施設能力補正

主ポンプ能力が水処理能力より大きいため

処理施設能力補正 M2 =

M3 : 経年変化補正 =

M4 : 施設率補正 =

M5 : 流入率補正 =

流入率 = m3/日 ÷ m3/日

= → %

% 以上のため  
流入補正 M5 =

$$M0 : \text{総補正率} = M1 \times M2 \times M3 \times M4 \times M5$$

$$= \quad \times \quad \times \quad \times \quad \times$$

$$=$$

\* 補正後人数

$$\text{補正後人数} = \text{基準人数} \times \text{総補正率 } M0$$

$$= \quad \times$$

$$= \quad \text{人/日}$$

\* 保守点検業務人数

職 階	補正後人数	年間基準日数	職階別業務人数	
			構成比率	業務人数
総括責任者				
副総括責任者				
主任				
技術員				
技能員				

(2) 運転操作監視業務人数 〈通常〉

1) 基準人数

$$\text{水処理人員} = \text{人/1勤務} (1 \text{ 勤務 } 17 \text{ 時間} = \text{時間})$$

2) 基準人数

$$\text{水処理} \quad \text{勤務日数} = \quad \text{日/年}$$

$$\text{基準勤務日数} = \frac{h \times \text{日/年}}{\text{時間}} = \quad \text{日/年}$$

$$\text{水処理中央監視年間延べ業務人数} = \text{基準人数} \times \text{基準勤務日数}$$

$$= \text{人} \times \quad \text{日/年}$$

$$= \quad \text{人}$$

\* 運転操作監視業務人数

職 階	業務人数	職階別業務人数	
		構成比率	業務人数
総括責任者			
副総括責任者			
主任			
技術員			
技能員			

(3) 運転操作監視業務人数 (深夜)

1) 基準人数

水処理人員 = 人/1勤務 (時間)

2) 基準日数

水処理 勤務日数 = 日/年

基準勤務日数 =  $\frac{h \times \text{日/年}}{\text{時間}} = \text{日/年}$

水処理中央監視年間延べ業務人数 = 基準人数 × 基準勤務日数  
= 人 × 日/年  
= 人

\* 運転操作監視業務人数

職 階	業務人数	職階別業務人数	
		構成比率	業務人数
総括責任者			
副総括責任者			
主任			
技術員			
技能員			

(4) 汚泥処理運転操作監視業務人数

① 汚泥処理運転操作監視業務人数

1) 基準人数

汚泥処理人員 = 人/1勤務 (時間)

2) 基準日数

汚泥処理 勤務回数 = 回/年

基準勤務日数 =  $\frac{h \times \text{回/年}}{\text{時間}} = \text{日/年}$

汚泥処理運転操作監視年間延べ業務人数 = 基準人数 × 基準勤務日数  
= 人 × 日/年  
= 人

② 汚泥濃縮機運転操作監視業務人数

1) 基準人数

汚泥処理人員 = 人/1勤務 (時間)

2) 基準日数

汚泥処理 勤務回数 = 回/年

基準勤務日数 =  $\frac{h \times \text{回/年}}{\text{時間}} = \text{日/年}$

汚泥濃縮機運転操作監視年間延べ業務人数 = 基準人数 × 基準勤務日数  
= 人 × 日/年  
= 人

\* 汚泥処理運転操作監視業務人数

職 階	①汚泥処理 業務人数	②機械濃縮 業務人数	職階別業務人数	
			構成比率	業務人数
総括責任者				
副総括責任者				
主任				
技術員				
技能員				

(6) 水質測定業務人数

1) 基準人数

水質測定人員 = 人/1勤務 (時間)

2) 基準日数

水質測定 勤務回数 = 回/年

基準勤務日数 =  $\frac{h \times \text{回/年}}{\text{時間}} = \text{日/年}$

水質測定年間延べ業務人数 = 基準人数 × 基準勤務日数  
= 人 × 日/年  
= 人

\* 水質測定業務人数

職 階	業務人数	職階別業務人数	
		構成比率	業務人数
副総括責任者			
主任			
技能員			



(7) 事務業務人数

1) 基準人数

その他の業務人員 = 人 / 1 勤務 ( 時間 )

2) 基準日数

その他の業務人員 勤務回数 = 回 / 年

基準勤務日数 =  $\frac{h \times \text{回/年}}{\text{時間}}$  = 日 / 年

その他の業務年間延べ業務人数 = 基準人数 × 基準勤務日数  
= 人 × 日 / 年  
= 人

\* 事務業務人数

職 階	業務人数	職階別業務人数	
		構成比率	業務人数
総 括 責 任 者			
副総括責任者			
主 任			
技 能 員			
そ の 他			

(8) その他の業務人数

1) 基準人数

その他の業務人員 = 人 / 1 勤務 ( 時間 )

2) 基準日数

その他の業務人員 勤務回数 = 回 / 年

基準勤務日数 =  $\frac{h \times \text{回/年}}{\text{時間}}$  = 日 / 年

その他の業務年間延べ業務人数 = 基準人数 × 基準勤務日数  
= 人 × 日 / 年  
= 人

\* その他の業務人数

職 階	業務人数	職階別業務人数	
		構成比率	業務人数
主 任			
技 能 員			
そ の 他			

3、直接業務費算出

(1) 労務単価

\* 労務単価 電工 = 24,700 円

職階別労務単価

職 階	電工単価	階級別補正率	労務単価	積算単価	深夜 労務単価	深夜 積算単価
総 括 責 任 者						
副総括責任者						
主 任						
技 術 員						
技 能 員						
そ の 他						

※下水道施設維持管理積算要項（表2-1-2 職種別労務単価基準額）

汚水前処理施設維持管理費積算
 《久保ポンプ場》

1. 積算条件設定

1) 処理能力

現有処理施設能力			
汚水ポンプ設備	5.0	m3/分	
現在流入水量（日平均）	2,400	m3/日	
雨水ポンプ設備	100.0	m3/分以上	

2) 保有設備

設 備 名	有 無
沈 砂 池 設 備	有
主 ポ ン プ 設 備	有
脱 臭 設 備	有
換 気 設 備	有
受 変 電 設 備	有
直 流 電 源 設 備	有
監 視 制 御 設 備	有
無 停 電 電 源 設 備	有
自 家 発 電 設 備	有
動 力 設 備	有
計 装 設 備	有
建 築 付 帯 設 備	有

3) 現有施設の設置後の経過年数

施設経過年数 = 32 年

4) 勤務日数・管理体制

(1) 保守点検業務（巡回方式）

巡回頻度	=	回/月
巡回体制	=	人/日
勤務時間	=	時間
巡回距離	=	k m
巡回速度	=	k m / h r

(2) 巡回点検業務（巡回方式）

巡回頻度	=	回/週
巡回体制	=	人/日
勤務時間	=	時間
巡回距離	=	k m
巡回速度	=	k m / h r

(3) その他の業務

巡回頻度	=	回/年
巡回体制	=	人/日
勤務時間	=	時間

## 2. 業務人数の算定

### 1) 保守点検業務人数

#### (1) 保守点検の点検人数

##### ① 基準人数

汚水ポンプ設備 = m3/分  
 雨水ポンプ設備 = m3/分以上

保守点検業務基準人数から

基準人数 = 人/日 + 人/日  
 = 人/日

##### ② 基準日数

年間基準日数 = 日

##### ③ 補正

M1 : 設備補正 =

設 備 名	補正率
沈 砂 池 設 備	
主 ポ ン プ 設 備	
脱 臭 設 備	
換 気 設 備	
受 変 電 設 備	
直 流 電 源 設 備	
監 視 制 御 設 備	
無 停 電 電 源 設 備	
自 家 発 電 設 備	
動 力 設 備	
計 装 設 備	
建 築 付 帯 設 備	
計 (設備補正率)	

M2 : 経年変化補正 =

M3 : 流入率補正 =

流入率 = m3/日 ÷ m3/日  
 =

流入量がポンプ能力の %以上

流入補正 M3 =

M0 : 総補正率 = M1 × M2 × M3  
 = × ×  
 =

##### \* 補正後人数

補正後人数 = 基準人数 × 総補正率 M0  
 = 人/日 ×  
 = 人/日

##### \* 保守点検の点検人数

保守点検の点検人数 = 補正後人数 × 年間基準日数  
 = 人/日 × 日  
 = 人

#### (2) 保守点検の巡回人数

##### ① 基準人数

巡回体制 = 人/日

##### ② 巡回頻度

巡回頻度 = 回/月

##### ③ 年間巡回数

年間巡回数 = 回/月 × 月  
 = 回

④ 1 巡回当り所要人数

巡回距離 = k m

巡回速度 = k m / h r

所要日数 = 巡回距離 ÷ ( h r / 日 × 巡回速度 )  
 = 0 k m ÷ ( h r / 日 × k m / h r )  
 = 日

⑤ 保守点検の巡回人数

保守点検の巡回人数 = 巡回体制 × 年間巡回数 × 所要日数  
 = 人 / 日 × 回 × 日  
 = 人

(3) 業務人数

保守点検の点検人数 (人)	保守点検の巡回人数 (人)	計 ①

① 職種別業務人数表

職 種	② 比率 (%)	①×② 業務人数 (人)
業務総括責任者		
副 総 括		
主 任		
技 術 員		
技 能 員		

2) 巡回点検業務人数

(1) 巡回点検の点検人数

① 基準人数

巡回体制 = 人 / 日

② 基準日数

巡回頻度 = 回 / 週

勤務時間 = 時間

基準日数 =  $\frac{\text{時間} \times \text{週/年} \times \text{回/週}}{\text{時間/日}}$   
 = 日

③ 巡回点検の点検人数

巡回点検の点検人数 = 人 / 日 × 日  
 = 人

(2) 巡回点検の巡回人数

① 基準人数

巡回体制 = 人 / 日

② 巡回頻度

巡回頻度 = 回 / 週

③ 年間巡回数

年間巡回数 = 回 / 週 × 週  
 = 回

④ 1 巡回当り所要日数

巡回距離 = k m

巡回速度 = k m / h r

所要日数 = 巡回距離 ÷ ( h r / 日 × 巡回速度 )  
 = 0 k m ÷ ( h r / 日 × k m / h r )  
 = 日

⑤ 巡回点検の巡回人数

$$\begin{aligned}\text{巡回点検の巡回人数} &= \text{巡回体制} \times \text{年間巡回回数} \times \text{所要日数} \\ &= \text{人/日} \times \text{回} \times \text{日} \\ &= \text{人}\end{aligned}$$

(3) 業務人数

巡回点検の点検人数 (人)	巡回点検の巡回人数 (人)	計 ①

① 職種別業務人数表

職 種	② 比率 (%)	①×② 業務人数 (人)
業務総括責任者		
副 総 括		
主 任		
技 術 員		
技 能 員		

3) その他の業務人数

(1) 基準人数

$$\text{巡回体制} = \text{人/日}$$

(2) 基準日数

$$\text{巡回頻度} = \text{回/年}$$

$$\text{勤務時間} = \text{時間}$$

$$\begin{aligned}\text{基準日数} &= \frac{\text{時間} \times \text{回/年}}{\text{時間/日}} \\ &= \text{日}\end{aligned}$$

(3) 年間延べ業務人数

$$\begin{aligned}\text{年間延べ業務人数} &= \text{人/日} \times \text{日} \\ &= \text{人}\end{aligned}$$

(4) 職種別業務人数表

職 種	職種別業務人数	
	比率	業務人数
業務総括責任者		
副 総 括		
主 任		
技 術 員		
技 能 員		
そ の 他		

《平原幹線マンホールポンプ》

1. 積算条件設定

1) 施設能力等

項 目			施 設 名 称
			平原幹線マンホールポンプ
設備	設置状況		水中マンホールポンプ
	能力	m <sup>3</sup> /m	1.84m <sup>3</sup> /分
設 備 内 容			ポンプ・電気計装設備
経 年 数			8年

2) 保守点検作業時間、巡回距離、巡回体制 (巡回方式)

項 目		施 設 名 称		
		事務所	平原幹線	事務所
保守点検所要時間		hr		
巡回	区間距離	km	8	8
		km	16	
条件	速 度	km/h		
	体 制	人		
	頻 度	回/日		

3) 巡回点検作業時間、巡回距離、巡回体制 (巡回方式)

項 目		施 設 名 称		
		事務所	平原幹線	事務所
巡回点検所要時間		hr		
巡回	区間距離	km	8	8
	距離計	km		
条件	速 度	km/h		
	体 制	人		
	頻 度	回/日	(保守点検日を除く)	

0.75 → 0.5

2. 業務人数の算定

1) 保守点検業務人数

(1) 基準人数

巡回体制 = 人/日

(2) 基準日数

基準日数 = 保守点検所要日数 + 巡回所要日数

① 保守点検所要日数

施設名称	① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回数 (回)	③ 保守点検 所要時間 (h r)	④ 保守点検 所要日数 (日)	⑤=②×④ 年間所要 日 数 (日)
平原幹線		365日 ×①		③集計 ÷8 h r	
		③集計			

② 巡回所要日数

① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回数 (回)	1巡回当り所要日数			⑥=②×⑤ 巡回年間 所要日数 (日)
		③ 巡回距離計 (km)	④ 巡回速度 (km/hr)	⑤ 所要日数 (日)	
				③/④/8 h r	

(3) 業務人数

① 基準人数 (巡回体制) (人/日)	基準日数			③=①×② 年間延べ 業務人数 (人)
	保守点検 所要日数 (日)	巡 回 所要日数 (日)	② 計 (日)	

(4) 職種別業務人数表

職 種	④ 比率 (%)	③×④ 業務人数 (人)
業務総括責任者		
副 総 括		
主 任		
技 術 員		
技 能 員		

2) 巡回点検業務人数

(1) 巡回点検の点検人数

① 基準人数

巡回体制 = 人/日

② 基準日数

巡回頻度 = 回/日 ※保守点検日を除く  
 = 日 × 回/日 - 回  
 = 回  
 ÷ 回

勤務時間 = 時間

基準日数 =  $\frac{\text{時間} \times \text{回}}{\text{時間/日}}$   
 = 日

③ 巡回点検の点検人数

巡回点検の点検人数 = 人/日 × 日  
 = 人

(2) 巡回点検の巡回人数

① 基準人数

巡回体制 = 人/日

② 巡回頻度

巡回頻度 = 回/日 ※保守点検日を除く

③ 年間巡回数

年間巡回数 = 回

④ 1巡回当り所要日数

巡回距離 = km

巡回速度 = km/hr

所要日数 = 巡回距離 ÷ ( hr/日 × 巡回速度 )  
 = km ÷ ( hr/日 × km/hr )  
 = 日

⑤ 巡回点検の巡回人数

巡回点検の巡回人数 = 巡回体制 × 年間巡回数 × 所要日数  
 = 人/日 × 回 × 日  
 = 人

(3) 業務人数

巡回点検の点検人数 (人)	巡回点検の巡回人数 (人)	計 ①

## ① 職種別業務人数表

職 種	② 比率 (%)	①×② 業務人数 (人)
業務総括責任者		
副 総 括		
主 任		
技 術 員		
技 能 員		

## 《新高山前処理施設外各マンホールポンプ》

(新高山前処理施設、平原マンホールポンプ、倉ノ内マンホールポンプ、浜田地区マンホールポンプ、東部漁協マンホールポンプ)

## 1. 積算条件設定

## 1) 施設能力等

項 目			施 設 名 称					
			平原マンホールポンプ	新高山前処理施設	倉ノ内マンホールポンプ	浜田地区マンホールポンプ	東部漁協マンホールポンプ	
設備	設置状況		水中マンホールポンプ	破 碎 機	水中マンホールポンプ	水中マンホールポンプ	水中マンホールポンプ	
	能力	m <sup>3</sup> /m	0.35m <sup>3</sup> /分	3.0m <sup>3</sup> /分	0.3m <sup>3</sup> /分	0.159m <sup>3</sup> /分	0.19m <sup>3</sup> /分	
設 備 内 容			ポンプ・電気計装設備	破碎設備・脱臭設備	ポンプ・電気計装設備	ポンプ・電気計装設備	ポンプ・電気計装設備	
経 年 数			13年	24年	14年	11年	15年	

## 2) 保守点検作業時間、巡回距離、巡回体制

項 目			施 設 名 称							
			事務所	平原	新高山	倉ノ内	浜田地区	東部漁協	事務所	
保守点検所要時間		hr								
巡回	区 間 距 離	km		8	7	2	0.5	0.5	2	
	距 離 計	km	20							
条件	速 度	km/h								
	体 制	人								
	頻 度	回/日								

## 3) 巡回点検作業時間、巡回距離、巡回体制

項 目			施 設 名 称							
			事務所	平原	新高山	倉ノ内	浜田地区	東部漁協	事務所	
巡回点検所要時間		hr								
巡回	区 間 距 離	km		8	7	2	0.5	0.5	2	
	距 離 計	km	20							
条件	速 度	km/h								
	体 制	人								
	頻 度	回/日								



## 2. 業務人数の算定

### 1) 保守点検業務人数

#### (1) 基準人数

巡回体制 = 人/日

#### (2) 基準日数

基準日数 = 保守点検所要日数 + 巡回所要日数

#### ① 保守点検所要日数

施設名称	① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回数 (回)	③ 保守点検 所要時間 (h r)	④ 保守点検 所要日数 (日)	⑤=②×④ 年間所要 日 数 (日)
新 高 山 平 原 倉 ノ 内 浜田地区 東部漁協		365日 ×①		③集計 ÷ 8 h r	
		③集計			

#### ② 巡回所要日数

① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回数 (回)	1 巡回当り所要日数			⑥=②×⑤ 巡回年間 所要日数 (日)
		③ 巡回距離計 (km)	④ 巡回速度 (km/hr)	⑤ 所要日数 (日)	
				③/④/ 8 h r	

#### (3) 業務人数

① 基準人数 (巡回体制) (人/日)	基準日数			③=①×② 年間延べ 業務人数 (人)
	保守点検 所要日数 (日)	巡 回 所要日数 (日)	② 計 (日)	

#### (4) 職種別業務人数表

職 種	④ 比率 (%)	③×④ 計算値 (人)
業務総括責任者		
副 総 括		
主 任		
技 術 員		
技 能 員		

2) 巡回点検業務人数

(1) 基準人数

巡回体制 = 人/日

(2) 基準日数

基準日数 = 巡回点検所要日数 + 巡回所要日数

① 巡回点検所要日数

施設名称	① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回数 (回)	③ 巡回点検 所要時間 (h r)	④ 巡回点検 所要日数 (日)	⑤=②×④ 年間所要 日数 (日)
新 高 山 平 原 倉 ノ 内 浜田地区 東部漁協		365日 ×①		③集計 ÷ 8 h r	
		③集計			

② 巡回所要日数

① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回数 (回)	1 巡回当り所要日数			⑥=②×⑤ 巡回年間 所要日数 (日)
		③ 巡回距離計 (km)	④ 巡回速度 (km/hr)	⑤ 所要日数 (日)	
				③/④/ 8 h r	

(3) 業務人数

① 基準人数 (巡回体制) (人/日)	基準日数			③=①×② 年間延べ 業務人数 (人)
	巡回点検 所要日数 (日)	巡 回 所要日数 (日)	② 計 (日)	

(4) 職種別業務人数表

職 種	④ 比率 (%)	③×④ 計算値 (人)
業務総括責任者		
副 総 括		
主 任		
技 術 員		
技 能 員		

※労務単価の算定

\* 労務単価 電 工 = 円

◎ 職種別労務単価算出

職 種	電工単価	職種別補正率	積算労務単価
業務総括責任者			
副 総 括			
主 任			
技 術 員			
技 能 員			
そ の 他			

# 《新浜幹線マンホールポンプ》

## 1 積算条件設定

### 1) 施設能力等

項 目			施 設 名 称
			新浜幹線マンホールポンプ
設備	設置状況		水中マンホールポンプ
	能力	m <sup>3</sup> /m	0.756m <sup>3</sup> /分
設 備 内 容			ポンプ・電気計装設備
経 年 数			0.8年（9か月）

### 2) 保守点検作業時間、巡回距離、巡回体制

項 目			施 設 名 称			
			事務所	新浜	事務所	
保守点検所要時間		hr				
巡回	区 間 距 離	km		7	7	
	距 離 計	km	14			
条件	速 度	km/h				
	体 制	人				
	頻 度	回/日				

### 3) 巡回点検作業時間、巡回距離、巡回体制

項 目			施 設 名 称			
			事務所	新浜	事務所	
巡回点検所要時間		hr				
巡回	区 間 距 離	km		7	7	
	距 離 計	km	14			
条件	速 度	km/h				
	体 制	人				
	頻 度	回/日				

## 2 業務人数の算定

### 1) 保守点検業務人数

#### (1) 基準人数

巡回体制 = 人/日

#### (2) 基準日数

基準日数 = 保守点検所要日数 + 巡回所要日数

#### ① 保守点検所要日数

施設名称	① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回数 (回)	③ 保守点検 所要時間 (h r)	④ 保守点検 所要日数 (日)	⑤=②×④ 年間所要 日 数 (日)
新浜幹線		365日 ×①		③集計 ÷ 8 h r	
		③集計			

② 巡回所要日数

① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回回数 (回)	1 巡回当り所要日数			⑥=②×⑤ 巡回年間 所要日数 (日)
		③ 巡回距離計 (km)	④ 巡回速度 (km/hr)	⑤ 所要日数 (日)	
				③/④/8 h r	

(3) 業務人数

① 基準人数 (巡回体制) (人/日)	基準日数			③=①×② 年間延べ 業務人数 (人)
	保守点検 所要日数 (日)	巡 回 所要日数 (日)	② 計 (日)	

(4) 職種別業務人数表

職 種	④ 比率 (%)	③×④ 計算値 (人)
業務総括責任者		
副 総 括		
主 任		
技 術 員		
技 能 員		

2) 巡回点検業務人数

(1) 基準人数

巡回体制 = 人/日

(2) 基準日数

基準日数 = 巡回点検所要日数 + 巡回所要日数

① 巡回点検所要日数

施設名称	① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回回数 (回)	③ 巡回点検 所要時間 (h r)	④ 巡回点検 所要日数 (日)	⑤=②×④ 年間所要 日 数 (日)
新浜幹線		365日 ×①		③集計 ÷8 h r	
		③集計			

② 巡回所要日数

① 巡回頻度 (回/日)	② 年間巡回回数 (回)	1 巡回当り所要日数			⑥=②×⑤ 巡回年間 所要日数 (日)
		③ 巡回距離計 (km)	④ 巡回速度 (km/hr)	⑤ 所要日数 (日)	
				③/④/8 h r	

## (3) 業務人数

① 基準人数 (巡回体制) (人/日)	基準日数			③=①×② 年間延べ 業務人数 (人)
	巡回点検 所要日数 (日)	巡回 所要日数 (日)	② 計 (日)	

## (4) 職種別業務人数表

職 種	④ 比率 (%)	③×④ 計算値 (人)
業務総括責任者		
副 総 括		
主 任		
技 術 員		
技 能 員		

4) 交通整理員の業務

1) 基準人数

基準人員 = 人

2) 基準日数

基準日数 = 日／年

勤務時間 = 時間

基準日数 =  $\frac{\text{時間}}{\text{時間}} \times \text{日／年}$

= (日)

3) 年間延べ業務人数

年間延べ業務人数 = (人／1 勤務) × (日)

= (人)

※労務単価の算定

\* 労務単価 電 工 = 円

◎ 職種別労務単価算出

職 種	電工単価	職種別補正率	積算労務単価
業務総括責任者			
副 総 括			
主 任			
技 術 員			
技 能 員			
そ の 他			
交通誘導警備員B			

# 圧送幹線空気弁点検業務委託積算資料

## 1、積算条件設定

### (1) 空気弁設置状況等

	設 置 場 所
①	太 田 川 橋 梁
②	山 波 32 号 線 入 口
③	尾道造船(株)バス停前
④	山 波 交 番 前
⑤	平 林 酒 店 前
⑥	尾 道 大 橋 下
⑦	尾 崎 バ ス 停 前
⑧	尾 道 漁 協 前
⑨	越 面 遊 園 地 前
⑩	大 宝 寺 前
⑪	新高山前処理施設前

### (2) 空気弁点検作業時間、巡回距離、巡回体制 (①～⑪)

項 目			空 気 弁 設 置 場 所									
			◎	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
点検所要時間		hr										
巡回	区間距離	km		1.6	0.7	0.6	0.1	0.8	0.3	0.5	0.2	
	距 離 計	km	4.8									
条件	速 度	km/h										
	体 制	人										
	頻 度	日/年	2									

項 目			空 気 弁 設 置 場 所						
				⑨	⑩	⑪	◎		
点検所要時間		hr							
巡回	区間距離	km	1.2	0.1	0.7	4.5			計
	距 離 計	km	6.5						11.3
条件	速 度	km/h							
	体 制	人							
	頻 度	日/年	2						

※表に印されている◎は作業基地である。

(3) 空気弁点検作業時間、巡回距離、巡回体制 (①～⑩)

項 目		空 気 弁 設 置 場 所									
		◎	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
点検所要時間		hr									
巡回	区間距離	km	1.6	0.7	0.6	0.1	0.8	0.3	0.5	0.2	
	距 離 計	km	4.8								
条件	速 度	km/h									
	体 制	人									
	頻 度	日/年	10								

項 目		空 気 弁 設 置 場 所						
			⑨	⑩	◎			
点検所要時間		hr						
巡回	区間距離	km	1.2	0.1	3.2			計
	距 離 計	km	4.5					9.3
条件	速 度	km/h						
	体 制	人						
	頻 度	日/年	10					

※表に印されている◎は作業基地である。



## 2、業務人数の算定

### (1) 空気弁点検業務人数

#### 1) 基準人数

点検基準人数 = 0 人

#### 2) 基準日数 (①～⑪)

空気弁点検基準日数 = 空気弁点検所要日数 + 巡回所要日数

#### ①空気弁点検所要日数

空気弁	① 巡回頻度 (日/年)	② 年間巡回数 (回)	③ 点 検 所要時間 (h r)	④ 点 検 所要日数 (日)	⑤=②×④ 年間所要 日 数 (日)
①				③ 集計  ÷ 8 h r	
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
⑪					
③ 集計					

#### ②巡回所要日数

① 巡回頻度 (日/年)	② 年間巡回数 (回)	1 巡回当り所要日数			⑥=②×⑤ 巡回年間 所要日数 (日)
		③ 巡回距離計 (k m)	④ 巡回速度 (km/hr)	⑤ 所要日数 (日)	
				③ ÷ (8hr×④)	

3) 基準日数基準日数 (①～⑩)

空気弁点検基準日数 = 空気弁点検所要日数 + 巡回所要日数

①空気弁点検所要日数

空気弁	① 巡回頻度 (日/年)	② 年間巡回数 (回)	③ 点 検 所要時間 (h r)	④ 点 検 所要日数 (日)	⑤=②×④ 年間所要 日 数 (日)
①				③ 集計 ÷ 8 h r	
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
③ 集計					

②巡回所要日数

① 巡回頻度 (日/年)	② 年間巡回数 (回)	1 巡回当り所要日数			⑥=②×⑤ 巡回年間 所要日数 (日)
		③ 巡回距離計 (k m)	④ 巡回速度 (km/hr)	⑤ 所要日数 (日)	
				③ ÷ (8hr×④)	

4) 職種別業務人数

① 基準人数 (巡回体制) (人)	②基準日数			③=①×② 年間延べ 業務人数 (人)
	保守点検 所要日数 (日)	巡 回 所要日数 (日)	計 (日)	
計				

職 階	④ 比 率 (%)	③×④ 計算値 (人)
総 括 責 任 者		
主 任		

(2) その他の業務人数

1) 基準人数

空気弁点検業務と一緒に作業を行うものとする。

基準人数 = 3 人

2) 基準日数 (①～⑪)

空気弁	① 巡回頻度 (日/年)	② 年間巡回数 (回)	③ 点 検 所要時間 (h r)	④ 点 検 所要日数 (日)	⑤=②×④ 年間所要 日 数 (日)
①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
⑪					
③集計				③集計	
				÷ 8 h r	

3) 基準日数 (①～⑩)

空気弁	① 巡回頻度 (日/年)	② 年間巡回数 (回)	③ 点 検 所要時間 (h r)	④ 点 検 所要日数 (日)	⑤=②×④ 年間所要 日 数 (日)
①				③集計 ÷ 8 h r	
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
③集計					

4) 職種別業務人数

① 基準人数 (人)	② 基準日数 (日)	③=①×② 年間延べ 業務人数 (人)	職 階	④ 比 率 (%)	③×④ 計算値 (人)
			総 括		
			主 任		

(3) 交通整理員の業務

1) 基準人数

基準人員 = 人

2) 基準日数

基準日数 = 日/年

勤務時間 = 時間

基準日数 =  $\frac{(\text{時間}) \times (\text{日/年})}{(\text{時間})}$

= (日)

3) 年間延べ業務人数

年間延べ業務人数 = (人/1 勤務) × (日) × 年  
= (人)

\_\_\_\_\_

(4) 労務単価の算出

＊ 労務単価          電工 ＝                  円  
職階別労務単価算出

職 階	階級別補正率	労務単価	積算単価
総 括 責 任 者			
副 総 括 責 任 者			
主 任			
技 術 員			
技 能 員			
そ の 他			
交通誘導警備員 B			

※下水道施設維持管理積算要項（表2-1-2 職種別労務単価基準額）

※交通誘導警備員 B：土木工事設計資材単価等（労務単価）

令和 8 年度  
直接業務費算出

(1) 労務単価  
\* 労務単価 電工 =                    円  
職階別労務単価

職 階	電工単価	階級別 補正率	労務単価	積算単価	深夜 労務単価	深夜 積算単価
総 括 責 任 者						
副総括責任者						
主 任						
技 術 員						
技 能 員						
そ の 他						
交通誘導警備員 B					—	—

※下水道施設維持管理積算要項（表2-1-2 職種別労務単価基準額）  
※交通誘導警備員 B：土木工事設計資材単価等（労務単価）

令和 9 年度  
直接業務費算出

(1) 労務単価  
\* 労務単価 電工 =                    円  
職階別労務単価

職 階	電工単価	階級別 補正率	労務単価	積算単価	深夜 労務単価	深夜 積算単価
総 括 責 任 者						
副総括責任者						
主 任						
技 術 員						
技 能 員						
そ の 他						
交通誘導警備員 B					—	—

※下水道施設維持管理積算要項（表2-1-2 職種別労務単価基準額）  
※交通誘導警備員 B：土木工事設計資材単価等（労務単価）

令和 1 0 年度  
直接業務費算出

(1) 労務単価  
\* 労務単価 電工 =                    円  
職階別労務単価

職 階	電工単価	階級別 補正率	労務単価	積算単価	深夜 労務単価	深夜 積算単価
総 括 責 任 者						
副総括責任者						
主 任						
技 術 員						
技 能 員						
そ の 他						
交通誘導警備員 B					—	—

※下水道施設維持管理積算要項（表2-1-2 職種別労務単価基準額）  
※交通誘導警備員 B：土木工事設計資材単価等（労務単価）

令和11年度  
直接業務費算出

(1) 労務単価  
\* 労務単価 電工 =                    円  
職階別労務単価

職 階	電工単価	階級別 補正率	労務単価	積算単価	深夜 労務単価	深夜 積算単価
総 括 責 任 者						
副総括責任者						
主 任						
技 術 員						
技 能 員						
そ の 他						
交通誘導警備員 B					—	—

※下水道施設維持管理積算要項（表2-1-2 職種別労務単価基準額）  
※交通誘導警備員 B：土木工事設計資材単価等（労務単価）

令和12年度  
直接業務費算出

(1) 労務単価  
\* 労務単価 電工 =                    円  
職階別労務単価

職 階	電工単価	階級別 補正率	労務単価	積算単価	深夜 労務単価	深夜 積算単価
総 括 責 任 者						
副総括責任者						
主 任						
技 術 員						
技 能 員						
そ の 他						
交通誘導警備員 B					—	—

※下水道施設維持管理積算要項（表2-1-2 職種別労務単価基準額）  
※交通誘導警備員 B：土木工事設計資材単価等（労務単価）

業務仕様明細 1

経費について

1. 修繕費

(1) 特記仕様書第11条を参照のこと。

当該修繕は、その費用が1件当たり200万円以下(見積り、税込)、年間上限額862万円未満(見積り、税込)とする。

2. 消耗品費

(1) 各年度644, 000円(税抜)を計上している。

3. 燃料費

(1) 燃料使用量として、作業用ガソリンを各年度100L計上している。

4. 水道料・ガス使用量

(1) 水道、都市ガスの使用量について以下の値を計上している。

施設名	水道使用量	都市ガス使用量	備考
尾道市浄化センター	1169m <sup>3</sup> /年	268m <sup>3</sup> /年	
新高山前処理施設	6m <sup>3</sup> /年		
久保ポンプ場	685m <sup>3</sup> /年		
平原前処理施設ポンプ場	3m <sup>3</sup> /年		

5. 通信費

(1) 通信に用いる使用回線数は以下のとおりである。

施設名		回線数	備考
久保ポンプ場	TM専用回線	1	
各マンホールポンプ場	アナログ回線	7	



## 脱水汚泥運搬業務

### 1. 業務内容

尾道市浄化センターより排出される産業廃棄物を以下の施設まで運搬する。  
(芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化施設または岡山産興株式会社福山工場)

### 2. 履行期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

### 3. 産業廃棄物等の種類及び運搬予定量

- (1)脱水汚泥(脱水ケーキ)(含水率79.0～81.0%)を見込んでいる。
- (2)運搬予定量 2,300t/年(脱水汚泥量の過去3カ年平均値)を見込んでいる。  
ただし、脱水汚泥の発生量は、水需要及び天候により変動する。  
なお、上記脱水汚泥量には、浄化槽汚泥17m<sup>3</sup>/日进行处理したものを含む。  
本業務においては、脱水汚泥の約90%を有価物として芦田川固形燃料化施設へ運搬するものとする。残りは、残りは、処分場に運搬するものとする。

### 4. 受渡方法等

- 積込場所は、尾道市東尾道19番地の1(尾道市浄化センター)
- (1)搬出回数は1～2回/日
  - (2)搬出量は概ね9t/回
  - (3)受渡方法はホッパー受渡とする。
  - (4)計量は固形燃料化施設及び岡山産興株式会社福山工場内の計量器により行い、計量票等により報告をすること。

### 5. 運搬の目的地

- (1)広島県福山市箕沖町106番地(芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化施設(広島県固形燃料化施設))
  - 1)搬入時間は、午前
  - 2)施設の受入状況により待機が生じる。
- (2)広島県神石郡神石高原町大矢27(岡山産興株式会社福山工場)
  - 1)搬入時間は、平日は9:00から16:00まで、土曜日は9:00から11:00  
通常は(1)施設へ運搬する。施設運転管理上、受入不可となる場合は、(2)施設へ運搬する。  
ただし、施設運転管理上、受入不可となる場合がある。その場合は、受注者は発注者と目的地変更について協議を行う事ができる。

### 6. 運搬車両

- (1)脱水汚泥は比重が軽く容積を必要とするため、深ダンプもしくは脱着装置付きコンテナ専用車とする。

- (2) 最大積載量は 13,000Kg 以下、車両総重量は 25,000Kg 以下の車両とする。
- (3) 運搬車両は汚泥の飛散、脱離液の漏洩及び臭気防止のためシート等で完全に被覆すること。
- (4) 産業廃棄物収集運搬車両として登録してあるものとする。

## 7. 受入施設との調整

受注者は、契約後速やかに広島県と委託契約を行っている施設管理事業者に対し、施設における搬入順路、搬入場所、搬入時間帯及び場内走行速度等の取り決めについて十分に調整し、円滑に業務を行うこと。また、施設内における取り決めについて施設との二者間に疑義が生じた場合、二者間でその疑義を解決すること。

## 8. 提出書類

- (1) 業務履行計画書
- (2) 産業廃棄物収集運搬業許可証の写し(第三者に委託する場合は、第三者の写し)
- (3) 産業廃棄物収集運搬車両登録証写し(第三者に委託する場合は、第三者の写し)
- (4) 業務従事者名簿(必要な資格免許証等の写し)
- (5) 運搬経路図
- (6) 緊急連絡体制
- (7) その他発注者が必要と認めたもの

## 9. 報告書類

- (1) 業務報告書
- (2) 芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化施設汚泥搬出計画書(月間)
- (3) 下水汚泥固形燃料化施設内の計量器による計量票
- (4) 岡山産興株式会社福山工場汚泥搬出計画書(月間)
- (5) 岡山産興株式会社福山工場内の計量器による計量票

なお、汚泥搬出計画書(月間)は各施設に同様に報告すること。

## 10. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)

受注者は、第 2 条第 3 項の事業場に当該業務に係る産業廃棄物を搬入する都度、必要事項をマニフェストに記載し、発注者が処分を委託した同条同項のものに回付すると共に、処理業務終了後、必要事項を記載して所定の期間内に発注者に提出すること。

マニフェストは委託料に含み受託者は発注者に必要量提供すること。

## 11. 法令遵守(コンプライアンス)の徹底

業務の実施にあたっては、廃棄物の処分及び清掃に関する法律、道路交通法、その他、関係法令を遵守すること。

## 12. 第三者に及ぼす損害

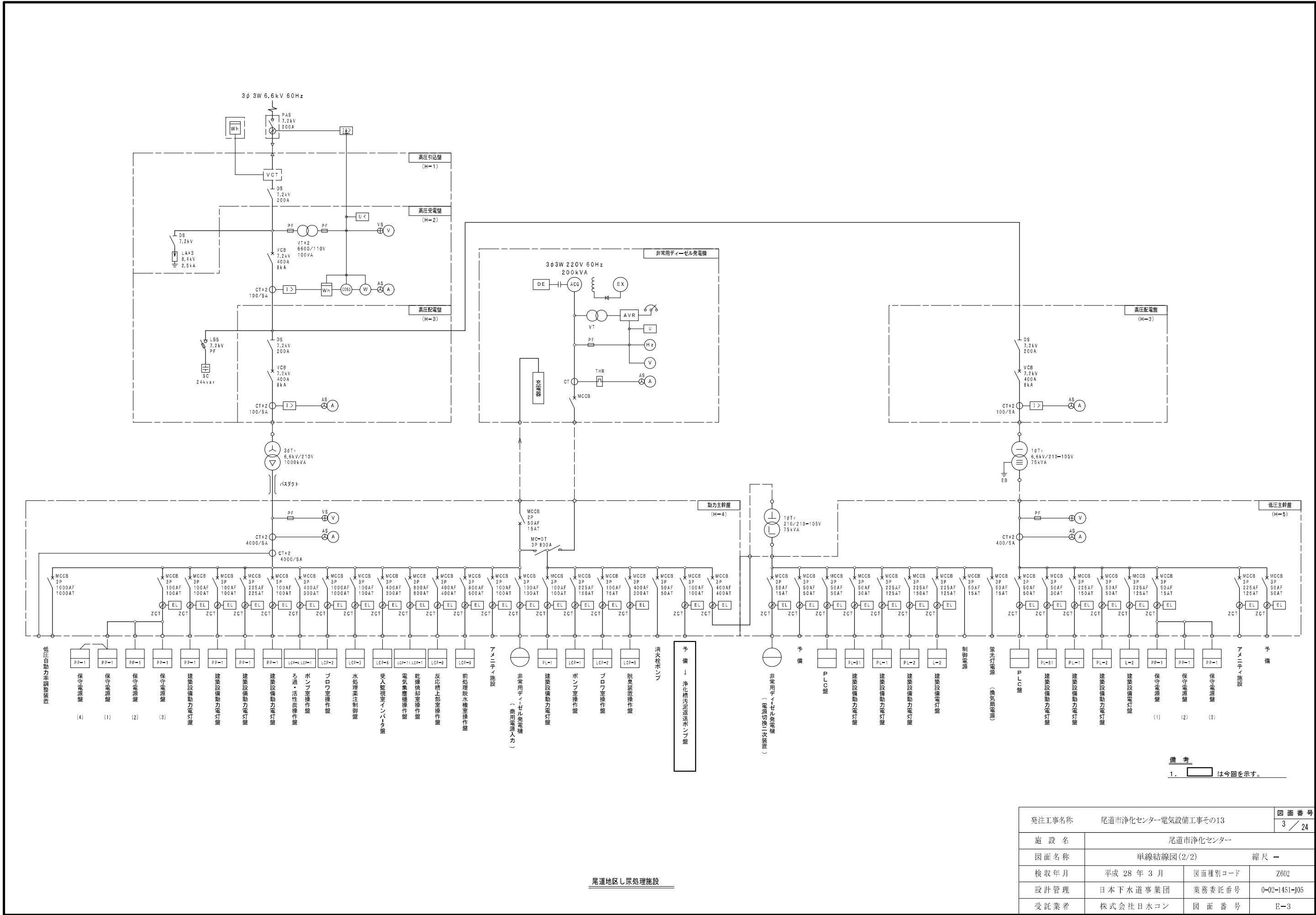
業務履行に伴い、第三者に損害を及ぼさないように注意すること。万一、受注者の責に帰すべき理由により生じた損害は受注者が賠償すること。

電力料算定について

1. 各施設の契約電力、力率、令和 6 年度使用量は下記のとおりである。なお、令和6年度尾道市浄化センターの年間流入水量は2,146,216m3、電力料金は42, 390,907円であった。
2. 電力料金には、燃料調整費(令和4年7月分)を見込んで積算している。

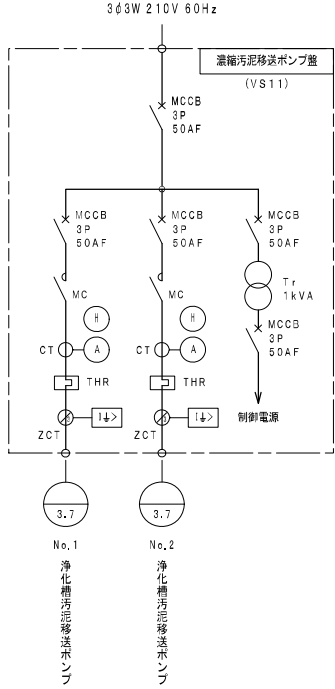
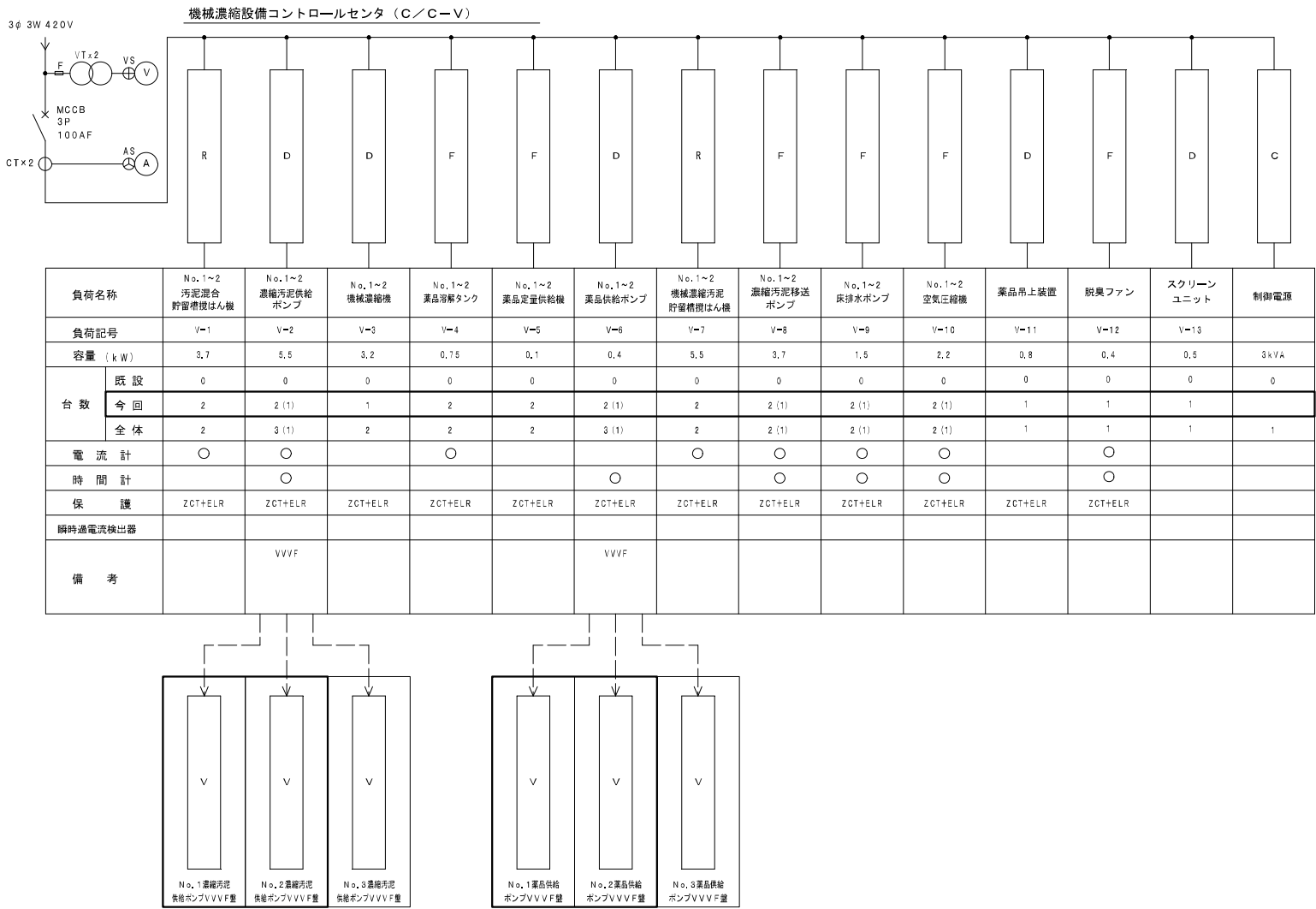
施設名称	受電 電圧	契約電力 (Kw)	力率 (%)	令和6年度 使用量(kwh)	契約種別
尾道市浄化センター	3 φ 3W 6,600V	232	97	1,658,585	高压電力P
新高山前処理施設	3 φ 3W 220V	4	90	9,359	ビジネス動力
	1 φ 2W 110V			735	スマートコース
東部漁協 マンホールポンプ	3 φ 3W 220V	3	90	35	ビジネス動力
	1 φ 2W 110V			149	スマートコース
倉ノ内 マンホールポンプ	3 φ 3W 220V	9	90	2,000	ビジネス動力
浜田 マンホールポンプ	3 φ 3W 220V	4	90	369	ビジネス動力
	1 φ 2W 110V			35	スマートコース
平原幹線 マンホールポンプ	3 φ 3W 220V	25	90	61,072	ビジネス動力
	1 φ 2W 110V			55	スマートコース
平原 マンホールポンプ	3 φ 3W 220V	9	90	2,439	ビジネス動力
	1 φ 2W 110V			95	スマートコース
新浜幹線 マンホールポンプ	3 φ 3W 220V	5	90	48	ビジネス動力
	1 φ 2W 110V			108	スマートコース





尾道地区し尿処理施設

発注工事名称		尾道市浄化センター電気設備工事その13		図面番号
施設名		尾道市浄化センター		3 / 24
図面名称		単線結線図(2/2)		縮尺
検取年月		平成 28 年 3 月	図面種別コード	Z602
設計管理		日本下水道事業団	業務委託番号	0-02-1451-J05
受託業者		株式会社日水コン	図面番号	E-3



コントロールセンタユニット凡例

回路名称	非可逆	可逆	Δ-Y
回路記号	F	R	Y
結線図			
回路名称	V V V F	電源送り	制御電源
回路記号	V	D	C
結線図			

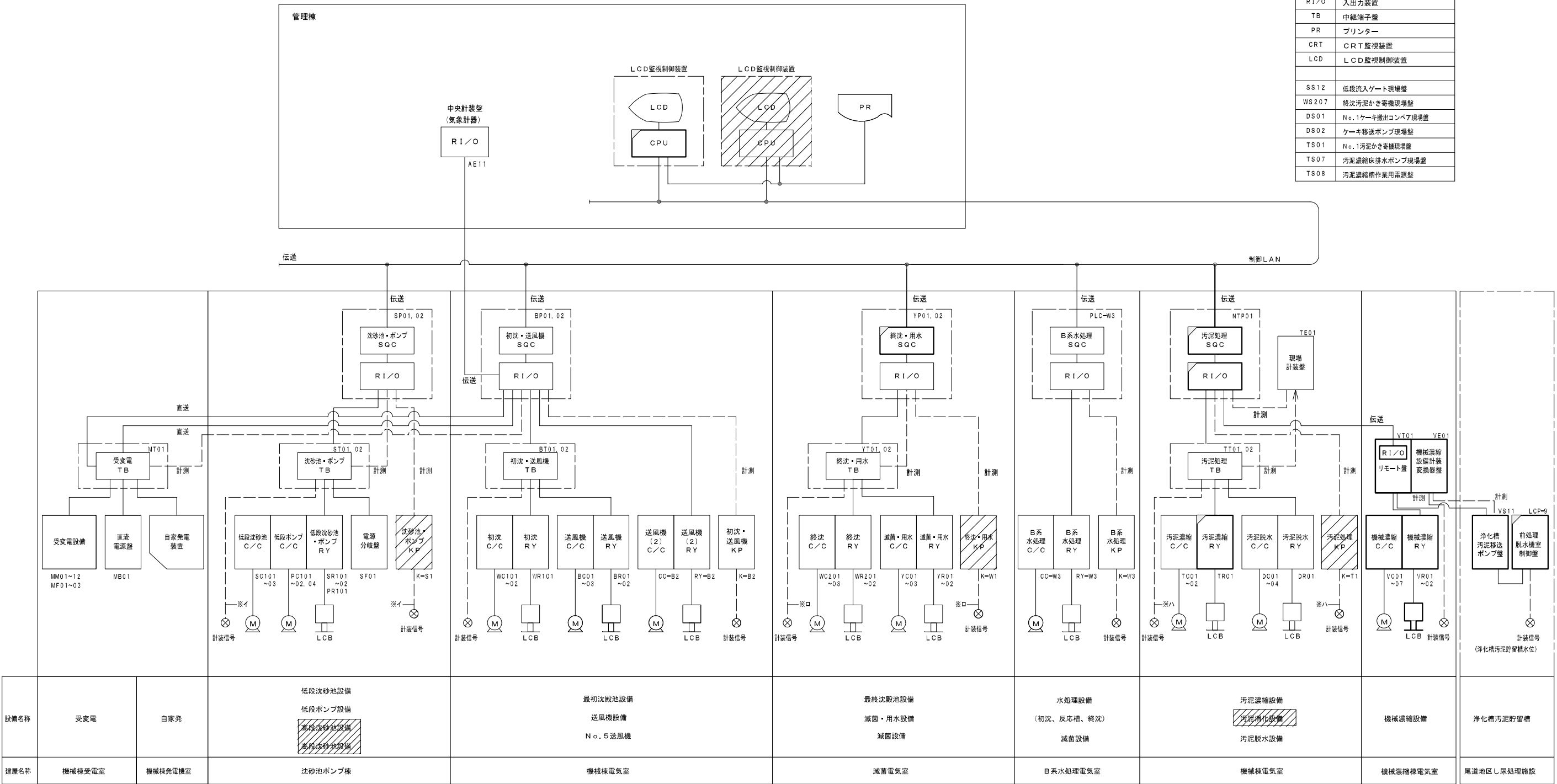
備考

1.  は今回を示す。

発注工事名称	尾道市浄化センター電気設備工事その13			図面番号
施設名	尾道市浄化センター			4 / 24
図面名称	低圧単線結線図(機械濃縮)			縮尺 ー
検取年月	平成 28 年 3 月	図面種別コード	Z602	
設計管理	日本下水道事業団	業務委託番号	0-02-1451-J05	
受託業者	株式会社日水コン	図面番号	E-4	

凡例

記号	名 称
C/C	コントロールセンタ
RY	補助継電器盤
LCB	現場盤
SQC	シーケンスコントローラ
RI/O	入出力装置
TB	中継端子盤
PR	プリンター
CRT	CRT監視装置
LCD	LCD監視制御装置
SS12	低段流入ゲート現場盤
WS207	終沈汚泥かき寄せ機現場盤
DS01	No.1ケーキ搬出コンベア現場盤
DS02	ケーキ移送ポンプ現場盤
TS01	No.1汚泥かき寄せ機現場盤
TS07	汚泥濃縮床排水ポンプ現場盤
TS08	汚泥濃縮槽作業用電源盤



備考

1. は今回を示す。
2. は機能増設を示す。
3. は将来を示す。

発注工事名称	尾道市浄化センター電気設備工事その13		図面番号
施設名	尾道市浄化センター		11 / 24
図面名称	システム構成図		縮尺
検取年月	平成 28 年 3 月	図面種別コード	Z607
設計管理	日本下水道事業団	業務委託番号	0-02-1451-J05
受託業者	株式会社日水コン	図面番号	E-19

## 自家用電気工作物保安管理業務

### 1. 施設概要及び点検周期

施設名		点検周期	施設概要
1	尾道市浄化センター	月次点検(月 1 回) 停電年次点検(年間 1 回)	別表 1 のとおり
2	久保ポンプ場	月次点検(隔月 1 回) 停電年次点検(年間 1 回)	別表 2 のとおり

### 2. 業務内容

- (1)受注者は、主任技術者を選任し、保安規程届出書(電気事業法第42条第1項)、保安管理業務外部委託承認申請書(電気事業法施工規則第52条第2項)等の届出を行わなければならない。
- (2)受注者は、電気設備保全計画書(要領書、工程表含む)を作成し、尾道市上下水道局職員(以下「職員」)に提出し承諾を得ること。
- (3)受注者は、電気工作物の維持及び運用について、定期的な点検、測定及び試験を行い、経済産業省令で定める技術基準等に適合しない事項又はその他必要な事項がある場合は、指示又は助言を行うこと。
- (4)受注者は、電気事故等が発生したときに当該電気事故等に対する応急措置及び必要な協議を職員と行うこと。
- (5)受注者は、電気工作物に関する点検記録、竣工検査記録及び電気事故記録を作成し、その都度職員に提出すること。
- (6)受注者は、電気工作物の運転操作に関する必要な事項などを職員と協議すること。
- (7)受注者は、電気工作物の運転操作上の重要事項を適切な箇所に明示すること。
- (8)受注者は、前各号に定めるほか、電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督業務を履行し、必要な指示又は助言を行うこと。

### 3. 報告等

- (1)点検を実施したときは、その都度職員に点検報告書、点検写真(年次点検時のみ)、その他必要書類を提出すること。なお、点検を実施した結果、経済産業省令で定める技術基準等に適合しない事項及びその他異常等発生する恐れがある場合は職員に報告を行うこと。
- (2)受注者は、必要に応じて官庁申請等の手続き業務を行うこと。
- (3)受注者は、電気関係報告規則に基づき、事故発生時には関係機関へ報告を行うこと。

### 4. 緊急時の連絡と対応

- (1)受注者は、発注者に緊急時の連絡方法を通知すること。
- (2)受注者は、事故・故障等が発生した場合は、速やかに現状の確認、受電停止、電気工作物の



切り離し等の処置を行い、状況に応じて臨時点検を実施すること。

(3)受注者は、重大事故等の不測の事態が発生した場合に、迅速な対応が出来る体制を整えておくこと。

## 5. 遵守事項

(1)受注者は、業務を履行するために必要な資格及び経験を有するものとし、関係法令を遵守し業務を誠実に行うこと。

(2)受注者は、業務を履行するに当たって履行日時及び内容については、他の業務に支障が生じないように行うこと。

(3)受注者は、業務を履行するに当たって、事故等が発生しないよう安全に行うこと。

(4)受注者は、業務を履行するに当たって事故等が発生したときは、直ちに職員に報告するとともに、当該事故等に対する応急措置を行うものとする。

(5)受注者は、業務を履行するに当たって、施設並びに設備を破損又は汚損しないように行うこと。

(6)受注者は、受注者の責めに帰すべき理由により、発注者又は第三者に損害を与えたときは当該損害を賠償しなければならない。

## 6. 絶縁監視装置等の機器設置

(1)経済産業省告示第249号第4条第7号に掲げる信頼性の高い需要設備に該当する電気工作物には、発注者の承諾を得て絶縁監視装置等の機器を設置することができる。

(2)絶縁監視装置等の機器の設置工事に要する費用は、原則として受注者が負担する。

(3)絶縁監視装置等の機器の保守は受注者が行い、その費用は受注者が負担するものとする。

(4)受注者は、発注者との契約が解除又は失効した時は、絶縁監視装置等の機器を撤去する。

(5)絶縁監視装置等の機器の運用に支障があると認められた場合は、発注者と受注者の協議のうえ絶縁監視装置等の機器を撤去すること。

## 7. 絶縁監視装置の警報発生

(1)絶縁監視装置の警報発生時(警報動作電流(設定の上限)以上の漏えい電流が発生している旨の警報(以下「漏えい警報」という。)を連続して5分以上受信した場合又は5分未満の漏えい警報を繰り返し受信した場合をいう。以下同じ。)には、原因を調査し、適切な措置を行うこと。

(2)警報発生時の受信の記録は、3年間保存すること。

## 8. 保安管理業務の適用除外

(1)保安管理業務施設の設備が特殊性を有するため、専門の知識及び技術を有する者でなければ点検を行うことが困難な自家用電気工作物

(2)保安管理業務施設の設置場所が特殊性を有するため、点検を行うことが困難な自家用電気工作物

(3)保安管理業務施設外で使用される可搬型機器である自家用電気工作物

(4)保安管理業務施設の発電設備のうち電気設備以外である自家用電気工作物

別表 1

施設の名称	尾道市浄化センター
施設の所在地	尾道市東尾道19番1号
需要設備	受電電圧            6, 600 V 需要設備容量      700 KVA
非常用予備発電装置	発電電圧    6, 600 V 発電容量      375 KVA ガスタービン発電装置

別表 2

施設の名称	久保ポンプ場
施設の所在地	尾道市久保二丁目27-1
需要設備	受電電圧            6, 600 V 需要設備容量      300 KVA
非常用予備発電装置	発電電圧      400 V 発電容量      300 KVA ディーゼル機関発電装置

## 消防用設備点検業務

### 1. 業務内容

本業務は、消防法第17条の3の3の規定に基づき消防用設備等の点検に関する業務を実施する。

### 2. 業務場所

- (1) 尾道市東尾道19番地の1(尾道市浄化センター)
- (2) 尾道市久保一丁目27番1号(久保ポンプ場)

### 3. 実施期間

6月から8月の間に機器点検、11月から2月の間に機器点検及び総合点検を行うものとする。前項の点検時期以外においても、発注者から消防用設備等の異常の通知を受けたときは、速やかに点検修理を行うものとする。

### 4. 対象施設

- (1) 尾道市浄化センター(管理棟、ポンプ棟、機械棟、機械濃縮棟、滅菌棟、濃縮棟、水処理施設棟、分配槽棟、管廊)(別紙1 対象施設一覧を参照)
- (2) 久保ポンプ場(別紙1 対象施設一覧を参照)

### 5. 点検方法

消防法第17条の3の3の規定に基づく消防設備等の点検基準、点検要領で点検を行うこと。

### 6. 報告書

報告書は点検終了後、速やかに提出すること。

- (1) 点検を開始するまでに年間予定表、業務内容等を記載した要領書を作成し発注者に提出すること。
- (2) 点検報告書は、消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票様式により報告すること。
- (3) 点検写真帳
- (4) その他必要と認めたもの

### 7. その他

軽微な部品交換等は受託者の負担とする。ただし、次の場合に要する費用は、発注者の負担とする。

- (1) 点検の結果、受注者の過失によらない設備の破損及び老朽化による機器の更新、交換の必要が生じた場合
- (2) 工事又は模様替えのため、設備の移転あるいは改修を必要とする場合
- (3) 受注者の過失によらない消防設備等の異常の発生のため、第2条3項の点検修理を行った場合
- (4) 点検の結果、設備の補修及び改修を要する事項がある場合は、その方法等について、指導・助言を行うこと。

別紙 1 対象施設一覧

①尾道市浄化センター

1) 管理棟

点検設備名等		数量	単位	備考
消火設備	粉末消火器(10 型蓄圧型)	10	本	
自動火災報知設備				
受信機(P 型 1 級)		1	台	
熱感知器	差動式スポット型	27	個	
	定温式スポット型	7	個	
煙感知器	光電式スポット型	8	個	
発 信 機		2	台	
音響設備	地区音響装置	2	個	
放送設備		1	式	
避難設備	誘導灯	6	台	

2) ポンプ棟

点検設備名等		数量	単位	備考
消火設備	粉末消火器(10 型蓄圧型)	12	本	
自動火災報知設備				
受信機(P 型 1 級)		1	台	
熱感知器	定温式スポット型	6	個	
煙感知器	光電式スポット型	33	個	
発 信 機		5	台	
音響設備	地区音響装置	5	個	
避難設備	誘導灯	17	台	

3) 機械棟

点検設備名等		数量	単位	備考
消火設備	粉末消火器(10 型蓄圧型)	33	本	
自動火災報知設備				
受信機(P 型 1 級)		1	台	
熱感知器	差動式スポット型	28	個	
	定温式スポット型	7	個	
煙感知器	光電式スポット型	24	個	
発 信 機		2	台	
音響設備	地区音響装置	4	個	
避難設備	誘導灯	32	台	

4) 機械濃縮棟

点検設備名等		数量	単位	備考
消火設備	粉末消火器(10 型蓄圧型)	4	本	
自動火災報知設備				
受信機(P 型 1 級)		1	台	
熱感知器	定温式スポット型	20	個	
煙感知器	光電式スポット型	6	個	
発 信 機		3	台	
音響設備	地区音響装置	3	個	
避難設備	誘導灯	13	台	

5) 滅菌棟

点検設備名等		数量	単位	備考
消火設備	粉末消火器(10 型蓄圧型)	2	本	

6) 濃縮棟

点検設備名等		数量	単位	備考
消火設備	粉末消火器(10 型蓄圧型)	3	本	
避難設備	誘導灯	2	台	

7) 水処理施設棟

点検設備名等		数量	単位	備考
消火設備	粉末消火器(10 型蓄圧型)	1	本	
避難設備	誘導灯	2	台	

8) 分配槽棟

点検設備名等		数量	単位	備考
消火設備	粉末消火器(10 型蓄圧型)	1	本	

9) 管廊

点検設備名等		数量	単位	備考
避難設備	誘導灯	6	台	

②久保ポンプ場

点検設備名等		数量	単位	備考
消火設備	粉末消火器(10 型蓄圧型)	14	本	
自動火災報知設備				
受信機(P 型 1 級)		1	台	
熱感知器	定温式スポット型	10	個	
	差動式分布型	1	個	
煙感知器	光電式スポット型	22	個	
発 信 機		5	台	
音響設備		1	式	
避難設備	誘導灯	13	台	

産業廃棄物の処理業務

1. 業務内容

本業務は、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物（以下「産業廃棄物等」という。）（し渣、ガラス屑、紙くず、廃プラスチック等及び腐食性廃酸）の収集、運搬及び処分を行うものとする。

2. 業務場所

(1)尾道市東尾道 19 番地の 1(尾道市浄化センター)

実施期間

- (1)廃棄物のうちNo.1(し渣)は、年 4 回の処分とする。
- (2)廃棄物のうちNo.2(紙くず)～No.6(腐食性廃酸)は、年 1 回の処分とする。
- (3)作業の実施にあたり発注者と日程調整を行うこと。

3. 産業廃棄物等の種類及び数量

産業廃棄物の種類及び数量は表 1 のとおりとする。

表 1

No.	種類	数量	単位	荷姿	備考
1	し渣(汚泥)	4,000	kg	土嚢袋詰	
2	紙くず	120	kg	袋詰め	酸、アルカリが付着している
3	ガラスくず	60	kg	箱詰め	
4	廃プラスチック等	60	kg	袋詰め	
5	金属くず	60	kg	袋詰め	
6	腐食性廃酸	180	リットル	ポリタンク	特別管理産業廃棄物

4. 収集運搬

- (1)収集運搬に当たっては、飛散・流出しないようにすること。
- (2)収集運搬車は、廃棄物が飛散し及び流出し、並びに悪臭が漏れるおそれのないものであること。
- (3)施行令第 6 条の 5 第 1 項第 1 号を遵守すること。

5. 廃棄物の処理

産業廃棄物の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和 45 年法第 137 号)で定める産業廃棄物の処理基準に掲げる方法で行うこと。  
上記の産業廃棄物を法令に準拠した処分場で処分すること。

## 6. 提出書類

次の書類を提出し、承諾を受けるものとする。

- (1) 産業廃棄物収集及び運搬業許可証の写し(第三者に委託する場合は、第三者の写し)
- (2) 産業廃棄物処分業許可証の写し(第三者に委託する場合は、第三者の写し)  
(法律第 14 条第 1 項及び第 14 条の 4 第 1 項に係る許可証)
- (3) その他発注者が必要と認めたもの

## 7. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)

受注者は、第 2 条第 3 項の事業場に当該業務に係る産業廃棄物を搬入する都度、必要事項をマニフェストに記載し、発注者が処分を委託した同条同項のものに回付すると共に、処理業務終了後、必要事項を記載して所定の期間内に発注者に提出すること。

マニフェストは委託料に含み受託者は発注者に必要量提供すること。

## 8. 法令遵守(コンプライアンス)の徹底

業務の実施にあたっては、廃棄物の処分及び清掃に関する法律、道路交通法、その他、関係法令を遵守すること。

## 9. 関係書類の保存

処理業務等完了後、関係書類を整備し、実施年度の末日の翌日から5年間保存するものとする。

## 10. 腐食性廃酸には以下の物質が含まれる

- 1) ペルオキシ二硫酸カリウム
- 2) 水酸化ナトリウム
- 3) 硫酸
- 4) モリブデン酸アンモニウム
- 5) 酒石酸アンチモニルカリウム
- 6) 塩酸



## 計装設備点検業務

### 1. 業務内容

尾道市浄化センター及び久保ポンプ場の計装設備の点検業務を行う。

### 2. 業務対象

#### 1) 尾道市浄化センター

種別	対象設備	台数	備考
点検業務	工業計器	180台	
	シーケンサ	5台	
	補助記憶装置	2台	
	その他機器	1式	
交換部品	フィルタ	1式	
	ハードディスクドライブ	1式	
	UPS	1式	
	UPS用バッテリー	1式	

#### 2) 久保ポンプ場

種別	対象設備	台数	備考
点検業務	工業計器	81台	
	シーケンサ	2台	
	無停電電源装置	1式	
	遠方監視装置	1式	※1
交換部品	投込式水位計交換部品	1式	
	アルカリ蓄電池用触媒栓	86個	

※1 令和8年度は取替のため、点検を行わない。  
(詳細については、別記 1.点検業務対象、別記 2.部品交換対象を参照)

### 3. 実施時期

発注者と点検時期を協議し、点検を実施すること。また、部品交換は、点検時に実施すること。

### 4. 点検報告書の提出

- (1) 点検を開始するまでに年間予定表、業務内容等を記載した要領書を作成し発注者に提出すること。
- (2) 点検ないし部品交換完了時にその都度、報告書を提出すること。
- (3) 各年度の年間保守完了時に点検報告書、点検写真を提出すること。

### 5. その他

- (1) 受注者は、業務遂行上必要かつ十分な資質を持った人員に、点検対象機器の機能を十分発揮できるよう業務を適切に履行しなければならない。
- (2) 点検時に既存設備等に損害を与えた場合は、受注者の責任により復旧すること。
- (3) 契約書類等に明記が無くても点検上必要な事項は実施すること。
- (4) 点検等に伴い発生する廃棄物は適切に処理すること。
- (5) 点検に必要な機材は受注者で準備すること。

別記1. 点検業務対象

1) 尾道市浄化センター

種別	点検数	点検頻度
投込式水位計	1 台	1 回/年
圧力式伝送器	19 台	1 回/年
電磁流量計	11 台	1 回/年
警報設定器	26 台	1 回/年
演算器・変換器	33 台	1 回/年
電電ポジショナー	1 台	1 回/年
ディストリビュータ	21 台	1 回/年
電源箱	6 台	1 回/年
雨量計	1 台	1 回/年
測温計	1 台	1 回/年
風向風速計	1 台	1 回/年
シーケンサ	5 台	1 回/年
指示計	59 台	1 回/年
総合機能点検	31 ループ	1 回/年
CRT装置	2 台	1 回/年
直流電源装置(整流器:50A 蓄電池:54 セル 50Ah)	1 式	1 回/年
直流電源装置(整流器:20A 蓄電池:12 セル 300Ah)	1 式	1 回/年
インバータ装置(2kVA)	1 式	1 回/年

2) 久保ポンプ場

種別	点検数	点検頻度
投込式水位計	5 台	1 回/年
フロート式水位計	1 台	1 回/年
電磁流量計	1 台	1 回/年
記録計	2 台	1 回/年
警報設定器	15 台	1 回/年
演算器	1 台	1 回/年
電電ポジショナー	2 台	1 回/年
変換器	5 台	1 回/年
ディストリビュータ	1 台	1 回/年
電源箱	1 台	1 回/年
雨量検出器	1 台	1 回/年
降雨強度計	1 台	1 回/年
積算計	2 台	1 回/年
指示計	43 台	1 回/年
シーケンサ	2 台	1 回/年
総合機能点検	7 ループ	1 回/年
無停電電源装置	1 式	1 回/年

遠方監視装置親局	1 局	1 回/年 (※2)
遠方監視装置子局	1 局	1 回/年 (※2)

※2 令和 8 年度は取替のため、点検を行わない。

## 別記2. 部品交換対象

### 1) 尾道市浄化センター

対象設備	部品名・型式	数量
POC01A	フィルタ(LA02112-2)	1 個/年
POC01A	フィルタ(LA02112-5)	1 個/年
POC01B	フィルタ(SAH6005-1)	1 個/年
POC01A	ハードディスクドライブ(HJ-F7524-51)	2 個(令和 10 年度)
POC01B	ハードディスクドライブ(HJ-F7524-52)	各年 2 個(令和 8、12 年度)
機械棟電気室(UPS)	UPS(MC-15K)	1 台(令和 9 年度)
B 系水処理電気室(UPS)	UPS(MC-10K)	1 台(令和 9 年度)
滅菌電気室(UPS)	UPS 用バッテリー(MC-30K 用)	1 式(令和 10 年度)

### 2) 久保ポンプ場

対象設備	部品名・型式	数量
雨水流入渠水位	ベロフラム・O リング・伝達液(SL-120C 用)	1 式/年
汚水流入渠水位	ベロフラム・O リング・伝達液(SL-120C 用)	1 式/年
雨水ポンプ井水位	ベロフラム・O リング・伝達液(SL-180C 用)	1 式/年
No.1 汚水ポンプ井水位	ベロフラム・O リング・伝達液(SL-180C 用)	1 式/年
No.2 汚水ポンプ井水位	ベロフラム・O リング・伝達液(SL-180C 用)	1 式/年
無停電電源装置	アルカリ蓄電池用触媒栓(QFG30E 用)	86 個(令和9年度)

## 水質計測器点検業務

## 1. 業務内容

本業務は、尾道市浄化センター内に設置している自動水質計測器の部品交換を伴う保守点検を実施する。

## 2. 業務場所等

(1)尾道市東尾道 19 番地の 1(尾道市浄化センター)

(2)自動水質計測器(工業計器)保守点検の対象機器を表 1 のとおりとする。

表 1

機器名		製作者	型式	製造番号	製造年
自動採水器		(株)エヌ・ケー・エス	LYSASM-S-J-WⅢ	2600785	2006.03
DO 計(A-1 系)	変換器	TOA-DKK(株)	OBM366	635787	2009.02
	検出器		JOC-950C	635788	2009.02
DO 計(A-2 系)	変換器	TOA-DKK(株)	OBM-162A	943512	2022.08
	検出器		7533L		2022.08
DO 計(B 系)	変換器	TOA-DKK(株)	SC200	1410C0139719	2014.10
	検出器		LDO200000022		
MLSS 計(A-1 系)	変換器	TOA-DKK(株)	SSD-320	655586	2010.02
	検出器				
MLSS 計(A-2 系)	変換器	TOA-DKK(株)	SSD-1620	687617	2012.02
	検出器				
MLSS 計(B 系)	変換器	TOA-DKK(株)	CWM-160	784140	2016.01
	検出器		SSF-1600		
超音波濃度計 供給汚泥	変換器	芝浦システム(株)	PU-5-15W3DOA	09G021	2009.11
	検出器			09I72	2009.11
汚泥濃度計 (A 系) 返送		JFE アドバンテック	SD-20-01	0173081	2017.03
汚泥濃度計 (B 系) 返送		JFE アドバンテック	SD-20-01	0169162	2016.09
汚泥濃度計 初沈汚泥		JFE アドバンテック	SD-20-01	0143110	2014.10
汚泥濃度計 濃縮器供給		JFE アドバンテック	SD-40-03	0183032	2018.03
汚泥濃度計 濃縮汚泥移送		JFE アドバンテック	SD-40-03	0183033	2018.03
UV 計	操作部	(株)堀場製作所	OPSA-150	8WM6JYU4	2008.08
	検出部		OPSA-150	8WM6JYU4	2008.08
負荷量演算器		横河電機(株)	LA450G-1-N-N-4	22D301529	2004.03
残留塩素計		横河電機(株)	RC400G	92K100473	2010.01
砂ろ過装置		横河電機(株)			2010.01
全窒素・全リン計		(株)堀場製作所	TPNA-500	B8VT0DDM	2023.10

### 3. 点検回数

点検回数は、表 2 に示す。

表 2

機器名	台数	点検回数
自動採水器	1	普通点検11回／年、精密点検1回／年
DO 計	3	普通点検11回／年、精密点検1回／年
MLSS 計	3	普通点検11回／年、精密点検1回／年
超音波汚泥濃度計	1	普通点検 5回／年、精密点検1回／年
複合散乱光式汚泥濃度計	5	普通点検 5回／年、精密点検1回／年
UV 計	1	普通点検11回／年、精密点検1回／年
負荷量演算器	1	普通点検11回／年、精密点検1回／年
残留塩素計	1	普通点検11回／年、精密点検1回／年
全窒素・全リン計	1	普通点検 5回／年、精密点検1回／年

※上記のほか、総合機能点検を年1回以上実施すること。

### 4. 交換部品

交換部品は、別紙 1 自動水質計測器使用材料一覧表を参照すること。

### 5. 実施時期

発注者と点検時期を協議し、適切な時期に実施すること。

### 6. 点検報告書の提出

- (1) 点検を開始するまでに年間予定表、業務内容等を記載した要領書を作成し発注者に提出すること。
- (2) 点検完了時にその都度、報告書を提出すること。
- (3) 各年度の年間保守完了時に点検報告書、点検写真を提出すること。

### 7. その他

- (1) 受注者は業務遂行上必要かつ十分な資質を持った人員に、点検対象機器の機能を十分発揮できるよう業務を適切に履行しなければならない。
- (2) 点検時に既存設備等に損害を与えた場合は、受注者の責任により復旧すること。
- (3) 契約書類等に明記が無くても点検上必要な事項は実施すること。
- (4) 点検等に伴い発生する廃棄物は適切に処理すること。
- (5) 点検に必要な機材は受注者で準備すること。

## 自動採水装置(型式:LYSAM-S-J-W3 )

[illegible]

DO計(A-1系)(型式:OBM366 )

[illegible]

DO計(A-2系)(型式:OBM-162A )

No.	部品名	部品番号	数量	単位	年度				
					R8	R9	R10	R11	R12
1	隔膜	5721570K	1	組	○	○	○	○	○
2	内部液	143D169	1	本	○	○	○	○	○
3									
4									

DO計(B系)(型式:SC200 )

[illegible]

## MLSS計(A-1系)(型式:SC200 )

No.	部品名	部品番号	数量	単位	年度				
					R8	R9	R10	R11	R12
1	検出端Assy	6805770K	1	個	○	○	○	○	○
2	ポリウレタンチューブ(黒)	116E519	1	本	○	○	○	○	○
3	ポリウレタンチューブ(透明青)	116E520	1	本	○	○	○	○	○
4	エアシリンダー	6870800S	1	個	○	○	○	○	○
5	ワイパーAssy	593395K	2	個	○	○	○	○	○
6	シリカゲルパック	143C661	1	個	○	○	○	○	○
7	電磁弁Assy	6870810S	1	個	○	○	○	○	○
8	電磁弁	126A9481	1	個	○	○	○	○	○
9	圧力スイッチ	7034540K	1	個	○	○	○	○	○
10	ツインコイリングチューブ	116E133	1	個	○	○	○	○	○
11	チェックバルブ	126H582	1	個	○	○	○	○	○
12	ナイロンチューブ	116E500	1	個	○	○	○	○	○
13	OリングP12	115A028	1	個	○	○	○	○	○
14	OリングP26	115A058	1	個	○	○	○	○	○
15	エアポンプアッセンブリ	6870820S	1	個				○	

MLSS計(A-2系) (型式:SSD-1620)

[illegible]

MLSS計(B系) (型式:CWM-160)

[illegible]

## 自動水質計測器材料一覽表

污泥濃度計 (A系・B系) 返送 (型式: SD-20-01、2台)

[illegible]

複合散乱光式汚泥濃度計（初沈、供給、移送汚泥（型式:SD-40-03）3台）

[illegible]

UV計(型式:OPSA-150)

[illegible]



超音波濃度計(供給汚泥)(型式:PU-5-15W3DOA)

[illegible]

残留塩素計(型式:RC400G)

[illegible]

自動水質計測器材料一覧表

全窒素・全リン計(型式:TPNA-500)

No.	部品名	部品番号	数量	単位	年度				
					R8	R9	R10	R11	R12
1	イオン交換樹脂再生	G5		個	○	○	○	○	○
2	PFフィルター			個	○	○	○	○	○
3	活性炭フィルター			個	○	○	○	○	○
4	エアポンプダイヤフラム組	3100000565	1	個	○	○	○	○	○
5	ミストキャッチャ組	3200570736	1	個	○	○	○	○	○
6	カップリング	3200662409	1	組	○	○	○	○	○
7	ファメドチューブ	3200539035	1	組	○	○	○	○	○
8	パッキン類(1Y)	3200538883	1	個	○	○	○	○	○
9	Oリング	3200542999	1	個	○	○	○	○	○
10	メッシュフィルタ	3200556384	1	個	○	○	○	○	○
11	Oリング	3030049448	1	個	○	○	○	○	○
12	UVランプ(窒素分解器用)	3014032138	2	式	○	○	○	○	○
13	コーンエース	3030021178	2	本	○	○	○	○	○
14	FEPチューブ	3030010051	1	本	○	○	○	○	○
15	エアフィルタ	3100000553	2	式	○			○	
16	サンプル用チューブ	3200539030	2	個	○			○	
17	試薬用チューブ	3200539031	2	個	○			○	
18	リチウム電池	3200541625	2	個	○			○	
19	UVランプ(リン分解器用)	3014032138	1	式	○			○	
20	パッキン類(3Y)	3200538884	1	個	○			○	
21	電磁弁(SV-123)	3200539194	1	個	○			○	
22	電磁弁(SV-125,225)	3200725769	2	個	○			○	
-	電磁弁(SV-OUT,PE,CE)		3	個	○			○	
23	セル継手(窒素分解器用)	3200539112	1	個		○		○	
24	反応セル(窒素分解器用)	3100000564	1	個		○		○	
25	電磁弁(SV-101,102,103)	3200539195	3	個		○			
26	電磁弁(SV-N1,P1)	3200725769	2	個		○			
27	パッキン類(5Y)	3200538953	1	個			○		
28	セル継手(リン分解器用)	3200539112	1	個			○		
29	反応セル(リン分解器用)	3100000564	1	個			○		
30	ヒータ組	3200646078	1	個			○		
31	工学フィルタ	3030048244	1	個			○		
32	UVランプ(分解器用)	3200879941	1	個			○		
33	電磁弁(SV-N2,P2)	3200725769	2	個			○		
34	電磁弁(SV-HCl)	3200539209	1	個			○		

## 全窒素・全リン計(型式:TPNA-500)

[illegible]

別図 1 環境調査業務測定地点位置図

No.2 △  
通用門

- ◎ 悪臭物質調査場所  
△ 臭気濃度調査場所

正門  
No.4 △

土壤脱臭床

ポンプ棟

No.5 ◎ △

最初沈殿池

分配槽

No.1 ◎ △

土壤脱臭床

最初沈殿池

電気室

生物反応槽

最終沈殿池

A 系

電気室

塩素中和池

管理棟

機械棟

No.6 ◎

濃縮タンク

No.3 △



## 環境調査業務

### 1. 業務内容

本業務は、悪臭防止法(法施行令第1条)による敷地境界線上の規制基準(平成15年広島県条例第35号)に準じた特定悪臭物質22項目及び臭気指数(別紙1 悪臭規制の概要)の調査を実施する。

### 2. 調査場所

- (1)尾道市東尾道19番地の1(尾道市浄化センター)
- (2)調査地点は、別紙2 特定悪臭物質外調査地点(別図1 環境調査業務測定地点位置図)で行うこと。

### 3. 実施時期

- (1)年1回実施するものとする。
- (2)作業の実施にあたり発注者と日程調整を行うこと。

### 4. 調査方法

- (1)分析は昭和47年環境庁告示第9号の規定する測定方法により行うこと。
- (2)試料採取方法及び運搬に使用する機器及び消耗品等は受注者の負担とする。
- (3)試料採取中を含め異常等が観られた場合は、発注者に速やかに報告すること。

### 5. 提出書類

受注者は、次の書類を提出し、承諾を受けるものとする。

- (1)環境計量士免状の写し(第三者に委託する場合は、第三者の写し)
- (2)環境計量事業所登録証の写し(第三者に委託する場合は、第三者の写し)
- (3)その他、発注者の指示する書類

### 6. 安全管理

受託者は、本業務に係る事故の防止と安全確保のため必要な措置を講じること。

### 7. 報告書

報告書は調査終了後、速やかに提出すること。

- (1)環境計量士の証明書を1部提出すること。
- (2)その他、発注者の指示する書類

### 8. 関係書類の保存

受注者は、関係書類を整備し、5年間保存するものとする。

別紙1 悪臭規則の概要

悪臭防止法に基づく特定悪臭物質(法施行令第1条)による濃度規制基準及び敷地境界における臭気指数基準

番号	特定悪臭物質	規制基準 (ppm)	臭気強度			臭気の質	主な発生源
			2.5	3	3.5		
1	アンモニア	1	1	2	5	し尿のような臭い	畜産事業所、化製場、し尿処理場
2	メチルメルカプタン	0.002	0.002	0.004	0.01	腐った玉ネギのような臭い	パルプ製造工場、化製場、し尿処理場
3	硫化水素	0.02	0.02	0.06	0.2	腐った卵のような臭い	畜産事業所、パルプ製造工場、し尿処理場
4	硫化メチル	0.01	0.01	0.05	0.2	腐ったキャベツのような臭い	パルプ製造工場、化製場、し尿処理場
5	二硫化メチル	0.009	0.009	0.03	0.1		
6	トリメチルアミン	0.005	0.005	0.02	0.07	腐った魚のような臭い	畜産事業所、化製場、水産缶詰製造工場
7	アセトアルデヒド	0.05	0.05	0.1	0.5	刺激的な青臭い臭い	化学工場、魚腸骨処理場、煙草製造工場
8	プロピオンアルデヒド	0.05	0.05	0.1	0.5	刺激的な甘酢っぱい焦げた臭い	焼き付け塗装工程を有する事業所
9	ノルマルブチルアルデヒド	0.009	0.009	0.03	0.08		
10	イソブチルアルデヒド	0.02	0.02	0.07	0.2		
11	ノルマルバレールアルデヒド	0.009	0.009	0.02	0.05	むせるような甘酢っぱい焦げた臭い	
12	イソバレールアルデヒド	0.003	0.003	0.006	0.01		
13	イソブタノール	0.9	0.9	4	20	刺激的な発酵した臭い	塗装工程を有する事業所
14	酢酸エチル	3	3	7	20	刺激的なシンナーのような臭い	塗装工程又は印刷工程を有する事業所
15	メチルイソブチルケトン	1	1	3	6		
16	トルエン	10	10	30	60	ガソリンのような臭い	
17	スチレン	0.4	0.4	0.8	2	都市ガスのような臭い	化学工場、FRP製品製造工場
18	キシレン	1	1	2	5	ガソリンのような臭い	塗装工程又は印刷工程を有する事業所
19	プロピオン酸	0.03	0.03	0.07	0.2	刺激的な酢っぱい臭い	樹脂酸製造工場、染織工場
20	ノルマル酪酸	0.001	0.001	0.002	0.006	汗臭い臭い	畜産事業所、化製場、でんぷん工場
21	ノルマル吉草酸	0.0009	0.0009	0.002	0.004	むれた靴下のような臭い	
22	イソ吉草酸	0.001	0.001	0.004	0.01		

臭気指数基準	許容限度
臭気指数	15

悪臭防止法、平成15年広島県条例第35号福山市第2種区域の基準値を適用する。。

## 別紙2

## 特定悪臭物質外調査地点

調査項目 \ 調査地点	No.1-3 土壌脱臭 装置	No.4 通用門	No.5 濃縮タンク横	No.6 正門	No.7 曝気槽横	No.8 活性炭脱臭 装置入口	No.9 活性炭脱臭 装置出口
アンモニア	○	—	—	—	○	—	—
メチルメルカプタン	○	—	—	—	○	○	○
硫化水素	○	—	—	—	○	○	○
硫化メチル	○	—	—	—	○	○	○
二硫化メチル	○	—	—	—	○	○	○
トリメチルアミン	○	—	—	—	○	—	—
アセトアルデヒド	○	—	—	—	—	—	—
プロピオンアルデヒド	○	—	—	—	—	—	—
ノルマルブチルアルデヒド	○	—	—	—	—	—	—
イソブチルアルデヒド	○	—	—	—	—	—	—
ノルマルバレールアルデヒド	○	—	—	—	—	—	—
イソバレールアルデヒド	○	—	—	—	—	—	—
イソブタノール	○	—	—	—	—	—	—
酢酸エチル	○	—	—	—	—	—	—
メチルイソブチルケトン	○	—	—	—	—	—	—
トルエン	○	—	—	—	—	—	—
スチレン	○	—	—	—	—	—	—
キシレン	○	—	—	—	—	—	—
プロピオン酸	○	—	—	—	—	—	—
ノルマル酪酸	○	—	—	—	—	—	—
ノルマル吉草酸	○	—	—	—	—	—	—
イソ吉草酸	○	—	—	—	—	—	—
臭気指数	○	○	○	○	○	—	—

※土壌脱臭装置No.1-3は、3年毎に実施すること。

## 別紙3

## 特定悪臭物質の測定方法等

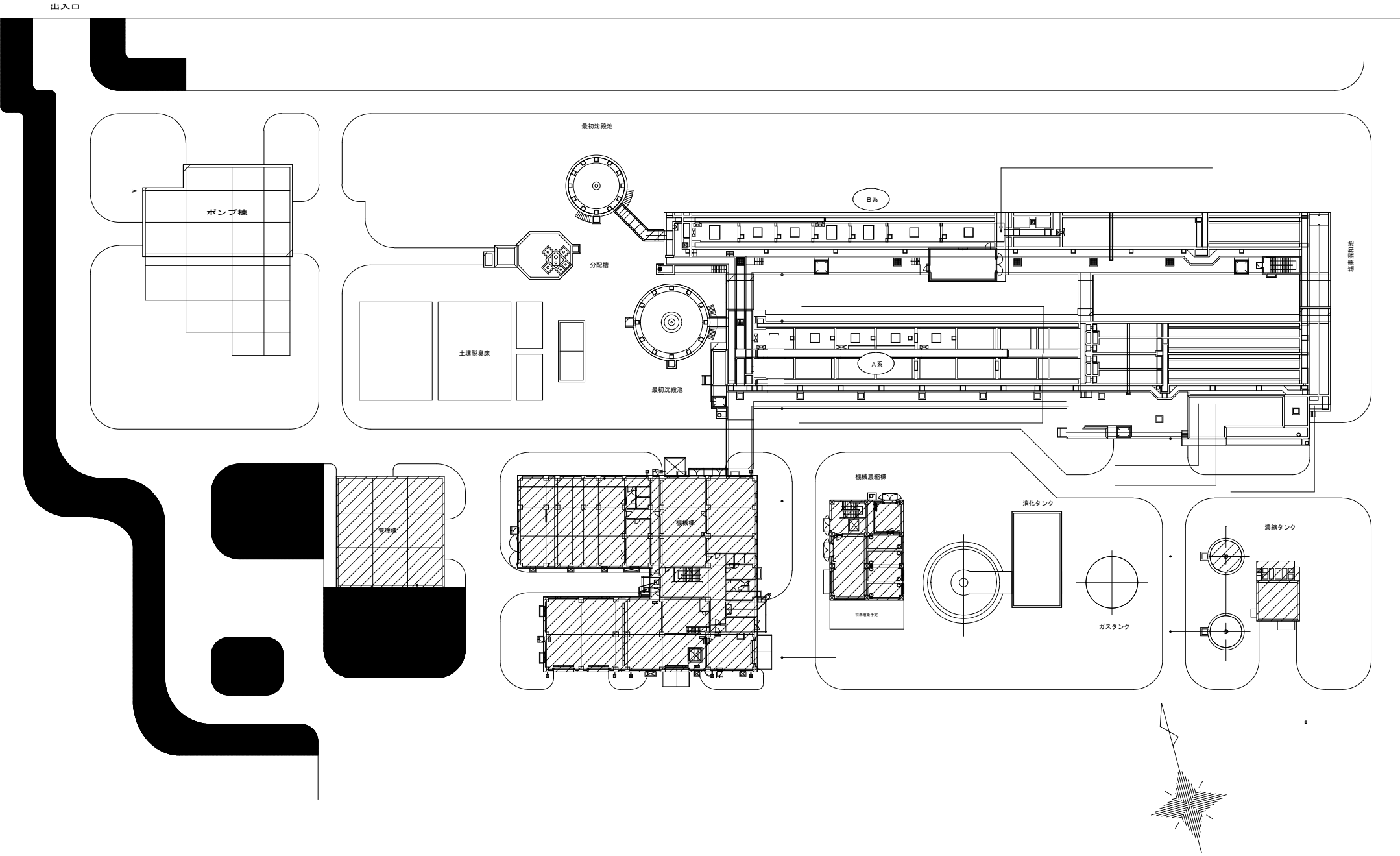
(単位:ppm)

番号	特定悪臭物質	規制基準	測定(計量)方法
1	アンモニア	1	昭和47年環境庁告示第9号別表第1
2	メチルメルカプタン	0.002	昭和47年環境庁告示第9号別表第2
3	硫化水素	0.02	昭和47年環境庁告示第9号別表第2
4	硫化メチル	0.01	昭和47年環境庁告示第9号別表第2
5	二硫化メチル	0.009	昭和47年環境庁告示第9号別表第2
6	トリメチルアミン	0.005	昭和47年環境庁告示第9号別表第3
7	アセトアルデヒド	0.05	昭和47年環境庁告示第9号別表第4
8	プロピオンアルデヒド	0.05	昭和47年環境庁告示第9号別表第4
9	ノルマルブチルアルデヒド	0.009	昭和47年環境庁告示第9号別表第4
10	イソブチルアルデヒド	0.02	昭和47年環境庁告示第9号別表第4
11	ノルマルバレルアルデヒド	0.009	昭和47年環境庁告示第9号別表第4
12	イソバレルアルデヒド	0.003	昭和47年環境庁告示第9号別表第4
13	イソブタノール	0.9	昭和47年環境庁告示第9号別表第5
14	酢酸エチル	3	昭和47年環境庁告示第9号別表第6
15	メチルイソブチルケトン	1	昭和47年環境庁告示第9号別表第6
16	トルエン	10	昭和47年環境庁告示第9号別表第7
17	スチレン	0.4	昭和47年環境庁告示第9号別表第7
18	キシレン	1	昭和47年環境庁告示第9号別表第7
19	プロピオン酸	0.03	昭和47年環境庁告示第9号別表第8
20	ノルマル酪酸	0.001	昭和47年環境庁告示第9号別表第8
21	ノルマル吉草酸	0.0009	昭和47年環境庁告示第9号別表第8
22	イソ吉草酸	0.001	昭和47年環境庁告示第9号別表第8

番号	臭気指数基準	許容限度	計量方法
1	臭気指数	15	平成7年環境庁告示第63号



別図 1 尾道市浄化センター芝生除草剤散布箇所



芝生除草剤散布業務

1. 業務内容

本業務は、除草剤等の植物成長調整剤、茎葉処理剤、種子発芽抑制剤及び茎葉兼土壌処理除草剤等を施設内芝生に散布を行う。

2. 業務場所

(1)尾道市東尾道 19 番地の 1(別図 1 尾道市浄化センター芝生除草剤散布箇所参照)

3. 実施時期

- (1)農薬散布は、年 3 回実施(表 1 参照)するものとする。  
(2)雑草の繁茂の著しい区域でスポット追加散布するものとする。  
(3)作業の実施にあたり発注者と日程調整を行うこと。

表 1

期間		名称(製品名)	散布面積 (㎡)	散布量	備考
①	7 月	モニュメント顆粒水和剤	3, 000	15g	
		アシュラスター液剤		2000mL	
		まくびか		200mL	
②	11 月	モニュメント顆粒水和剤	3, 000	15g	
		アシュラスター液剤		2000mL	
		まくびか		200mL	
③	3 月	ウェイアップフロアブル	3, 000	2000mL	
		ターザインプロ DF		200g	

4. 使用農薬

使用農薬の名称は、表 2 を基準とし、受注者は使用する名称(製品名)、農薬登録番号及び安全データシートを事前に通知し、発注者の確認を受けるものとする。

表 2

名称(製品名)	種類	番号	用途
モニュメント顆粒水和剤	トリフロキシスルフロナトリウム塩水和剤	21948	除草剤
アシュラスター液剤	アシュラム・MDBA カリウム塩液剤	23081	除草剤
まくびか	展着剤	21216	その他
ウェイアップフロアブル	ベンデメタリン水和物	16959	除草剤
ターザインプロ DF	イソキサベン・フロララム水和剤	24202	除草剤

#### 5. 散布方法

- (1) 使用農薬の農薬登録情報に基づいて、散布を行うこと。
- (2) 作業従事者は、農薬散布に精通しているもの、かつ農薬散布経験者とする。

#### 6. 安全対策等

- (1) 安全データシートに基づいた対策を講ずること。
- (2) 応急の措置を行うこと。
- (3) 火災時の措置を行うこと。
- (4) 漏出時の措置を行うこと。
- (5) 取扱いおよび保管上の注意を行うこと。
- (6) ばく露防止および保護措置を行うこと。
- (7) 関係者以外の場合内立入に注意し、事故のないよう努めること。

## 樹木剪定・除草作業業務

### 1. 業務内容

本業務は、樹木の剪定・伐採及び除草作業を行う。

剪定・伐採及び除草作業は業務期間中に発注者と協議の上、各樹木及び雑草の種類、形状及び周囲の状況を把握して実施する。

### 2. 業務場所

(1)尾道市東尾道 19 番地の 1(場内全体とする。)

### 3. 実施時期

- (1)剪定(高木)は、年1回実施するものとする。
- (2)剪定(低木)は、年2回実施するものとする。
- (3)除草作業は、年4回実施するものとする。
- (4)作業の実施にあたり発注者と日程調整を行うこと。

### 4. 剪定方法

- (1)樹種、植栽目的、剪定頻度など各高木で剪定方法は異なるが、樹形全体のバランスを考え、枝おろし、枝透かし(枝抜き)を行うこと。
- (2)腐れや不定芽の発生原因となる「ぶつ切り」は行わないこと。
- (3)下枝の枯死を防ぐため、上方を強く下方を弱く剪定すること。また、高木を枯死させぬように細心の注意を払い、必要に応じて切口に防腐剤等の処置を行うこと。
- (4)剪定木片等の処分を行うこと。

### 5. 伐採方法

- (1)切口は水平に滑らかに、面取りをしてきれいに仕上げること。
- (2)作業中は、建造物、車両等に損傷を与えないよう十分注意し、万一損害を与えた場合は、速やかに発注者に報告するとともに受注者の責任において処理すること。
- (3)伐採木片等の処分を行うこと。

### 6. 除草及び集草

- (1)除草作業は、敷地の地際より繁茂している雑草類を地際より丁寧に除去するとともに、作業に伴う清掃も同時に行うこと。
- (2)作業は動力草刈り機等の機械刈り取りを原則とし、機械刈りが出来ない箇所については、人力刈り取り又は抜き取りを行うものとする。
- (3)除草作業後に発生する雑草類やごみ等は現場内外に残らないように集積し搬出処分を行うこと。

#### 7. 集草した雑草等の収集・運搬及び処分

- (1) 業務内容に対応する一般廃棄物収集運搬業の許可を有している者に収集運搬を行わせること。
- (2) 本業務により発生する一般廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関係法令を遵守し、適切に収集・運搬及び処分を行うこと。

#### 8. 安全管理

- (1) 作業従事者は身体を保護するため防塵眼鏡・前掛・ヘルメット・安全靴等を着用し、けがの防止に努めること。
- (2) 作業中は常に作業の安全に留意し、人及び車両等に危険のないよう十分注意し、バリケード等により安全対策を講じること。

#### 9. 有資格者の確保

業務の履行にあたり、必要に応じて以下の資格等を有する者を配置すること。

- (1) 安全衛生教育修了者(チェーンソー)
- (2) 安全衛生教育修了者(刈払い機)

## 管理棟清掃業務

### 1. 業務内容

別紙「別紙1 管理棟清掃場所内訳一覧表」に記載のとおり業務を行う。

### 2. 業務場所

(1)尾道市東尾道19番地の1(尾道市浄化センター管理棟)

### 3. 提出書類

受注者は、業務履行に先立ち業務着手までに次の書類を提出し、発注者の承諾を受けなければならない。

(1)履行計画書

(2)使用材料仕様書

(3)その他発注者が指示する書類

### 4. 業務報告

受注者は業務を履行し、業務実施状況を作業報告書に記録し、発注者に作業報告書を提出しなければならない。

### 5. 業務の分類と時間帯

(1)日常清掃業務は、平日(土曜日、日曜日、祝日、年末年始以外)に行う作業で年間75回とする。

(2)作業時間は、当該施設の管理執務時間に準じる。

(3)特別清掃業務は、発注者が指定する期間に別紙「清掃業務実施場所一覧表」に示してある特別清掃業務を実施する。

### 6. 注意義務

(1)業務の実施に当たっては、火災、盗難の防止、風紀衛生に注意し、業務終了後は窓等の施錠をし、異常があれば速やかに発注者に報告しなければならない。

(2)業務履行中の事故を防止するため、必要な保全措置を講じ、安全を確保した後業務の履行をしなければならない。

(3)業務履行上において薬品等の取扱いを伴う場合は、人体に影響がないよう注意するとともに、漏洩させないように注意しなければならない。

(4)業務終了後は、施設内の移動したものは原状に復し、業務で使用した器材器具は所定の位置に整理整頓しなければならない。なお、清掃用の器材器具及び消耗品は、受注者の責任において管理しなければならない。

### 7. 作業基準

(1)ちり払い・床はき

- ① 一般室等のちり払い、床はきは、窓、出入り口の通風換気をよくした後、実施する。
- ② ちり払い、床はきの実施により、その付近その他に集積したゴミは同時に取り除く。
- ③ 窓周り、戸棚等で日常手の届かない場所は、はたき、長柄のちり払い等を使用して行う。
- ④ 一般床は、自在箒で丁寧に床はきを行う。
- ⑤ マットの掃除は、土砂、ほこり等を十分掃除する。なお、雨降りなどで濡れている場合は、水洗い後乾燥させて元の位置に置く。

(2) 雑巾がけ・モップふき

- ① 複雑な箇所は雑巾を用いて、床面はモップを用いて行う。なお、汚れの激しい場合は、適正洗剤等を塗布し汚れをきれいに除去する。
- ② 窓台、ガラス等は、水搾り雑巾できれいに拭き取る。

(3) 床洗浄

- ① 洗剤及びワックスは、材質に応じた適正なものを使用する。
- ② モルタル床、舗装床など発注者の指示する箇所は、水洗いとする。

(4) 安全

- ① 職員等が清掃の支障となる場合は、その前後にバリケード等を設置する。
- ② 水質検査室の清掃は、職員の立会の下、安全の確保に十分注意を払って行う。

(5) その他

- ① 手洗器、洗面器、流し便器等は、丁寧に水洗いし、排水管、排水目皿などを掃除し通水をよくする。なお、薬品洗いは、希塩酸を使用してはならない。
- ② 支給するトイレットペーパー、石鹸、消毒液は、常に使用できるよう補充する。
- ③ ゴミ箱及び通常に出るゴミ(紙くず、吸殻、茶殻、及びその他の不燃物性のゴミ等)は、ストックヤードに分別し、整理する。
- ④ サッシは、タオル又はハケ等を用いて丁寧にちり払いを行う。
- ⑤ 窓ガラス内部面は、ガラスクリーナー等を使用し拭き取りを行う。
- ⑥ 防虫網戸、窓ガラス、窓枠、ブラインドの掃除は、水洗いを原則とするが、汚れがひどい場合はクリーナー等を使用して行う。
- ⑦ 管理棟の外部窓ガラス及び換気扇フードにおいては、必要に応じて年1回、高所作業車を使用しての清掃作業を行う。

8. 雑測

上記に明示されない事項であっても、業務上必要と認められるものについては、受注者の責務において実施するものとする。

## 別紙1

## 管理棟清掃場所内訳一覧表

## 1. 日常清掃業務

場所		面積	回数	備考
一階	ポーチ、風除室、踏込み	42	75回／年	マット、ガラスドアを含む
	玄関ホール、廊下	79		前室、下駄箱を含む
	便所	20		女性用、男性用、身障者用
	北側通用口	10		
	水質検査室	72		
二階	ホール、廊下	79	75回／年	
	事務室	55		
	会議室	49		
	中央監視室	58		
	便所	10		
	湯沸し室	4		
	階段	8		1階から2階へ
	搬入バルコニー、階段	14		屋外
	空調機械室	27		
塔屋	階段、階段室	12	1回／月	2階から屋上へ
	ゴミの収集		随時	管理棟全体、週1回以上

## 2. 特別清掃業務(ワックス塗布)

場所		面積	回数	備考
一階	玄関ホール、廊下	79	2回／年	前室も含む
	水質検査室	72		
二階	ホール、廊下	79		前室も含む
	事務室	55		
	会議室	49		
	中央監視室	58		
	湯沸し室	4		
	階段	8		1階から2階へ
塔屋	階段、階段室	12		2階から屋上へ

## 3. 特別清掃業務

場所		数量	回数	備考
その他	窓ガラス、防虫網	171	2回／年	管理棟
	ブラインド	41	1回／年	
	天井照明、誘導灯	86灯		
	換気扇	10基		



## 水質検査・汚泥検査業務

### 1. 業務内容

本業務は、下水道法施行令第12条第1項(法第21条第1項)に基づいた水質検査及び下水道施行令13条の4(法第21条の2第1項)廃掃法施行令表第3の3に掲げる物質に基づき脱水汚泥に含まれる有毒物質の検査を行う。

### 2. 試料採取場所

尾道市東尾道 19 番地の 1(尾道市浄化センター)

### 3. 実施時期

発注者と採取時期を協議し、適切な時期に実施すること。

### 4. 測定項目等

測定項目、測定回数及び測定方法は別紙 1-1 並びに別紙 1-2 のとおりとする。

### 5. 試料採取

試料採取については、JISK0094及び下水試験方法に基づいて行うこと。

### 6. 提出書類

次の書類を提出し、承諾を受けるものとする。

#### (1) 履行計画書

#### (2) 環境計量士免状の写し(第三者に委託する場合は、第三者の写し)

#### (3) 環境計量事業所登録証の写し(第三者に委託する場合は、第三者の写し)

#### (4) その他、発注者の指示する書類

### 7. 安全管理

受託者は、本業務に係る事故の防止と安全確保のため必要な措置を講じること。

### 8. 報告書

報告書は調査終了後、速やかに提出すること。

#### (1) 環境計量士の証明書を1部提出すること。

#### (2) 業務実績報告書

#### (3) その他、発注者の指示する書類

### 9. 関係書類の保存

受注者は、関係書類を整備し、5年間保存するものとする。

## 別紙1-1

## 水質測定項目及び検査回数

	検査場所	流入水	放流水	測定(分析)方法
	尾道市東尾道19番の1	回数	回数	
環境項目				
1	n-ヘキサン抽出物質	24	24	JIS K 0102-1 22.3
2	陰イオン界面活性剤	24	24	JIS K 0102-4 6.2.2
3	フェノール類含有量	1	4	JIS K 0102-4 5.2.4
4	銅含有量	1	4	JIS K 0102-3 11.6
5	亜鉛含有量	1	4	JIS K 0102-3 12.5
6	溶解性鉄含有量	1	4	JIS K 0102-3 16.5
7	溶解性マンガン含有量	1	4	JIS K 0102-3 15.4
8	クロム含有量	1	4	JIS K 0102-3 24.2.5
有害項目				
1	カドミウム及びその化合物	1	4	JIS K 0102-3 14.5
2	シアン化合物	1	4	環告第59号(昭46)付表1
3	有機燐化合物	1	4	環告第64号(昭49)付表1
4	鉛及びその化合物	1	4	JIS K 0102-3 13.5
5	六価クロム化合物	1	4	JIS K 0102-3 24.3.1
6	砒素及びその化合物	1	4	JIS K 0102-3 20.5
7	総水銀	1	4	環告第59号(昭46)付表2
8	アルキル水銀化合物	1	4	環告第59号(昭46)付表3
9	ポリ塩化ビフェニル	1	4	環告第59号(昭46)付表4
10	トリクロロエチレン	1	4	JIS K 0125-5.2
11	テトラクロロエチレン	1	4	JIS K 0125-5.2
12	ジクロロメタン	1	4	JIS K 0125-5.2
13	四塩化炭素	1	4	JIS K 0125-5.2
14	1,2-ジクロロエタン	1	4	JIS K 0125-5.2
15	1,1-ジクロロエチレン	1	4	JIS K 0125-5.2
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	1	4	JIS K 0125-5.2
17	1,1,1-トリクロロエタン	1	4	JIS K 0125-5.2
18	1,1,2-トリクロロエタン	1	4	JIS K 0125-5.2
19	1,3-ジクロロプロペン	1	4	JIS K 0125-5.2
20	チウラム	1	4	環告第59号(昭46)付表5
21	シマジン	1	4	環告第59号(昭46)付表6
22	チオベンカルブ	1	4	環告第59号(昭46)付表6
23	ベンゼン	1	4	JIS K 0125-5.2
24	セレン及びその化合物	1	4	JIS K 0102-3 26.4
25	ほう素及びその化合物	1	4	JIS K 0102-3 5.5
26	ふっ素及びその化合物	1	4	JIS K 0102-2.5.4
27	1,4-ジオキサン	1	4	環告第59号(昭46)付表7

## 別紙1-2

下水汚泥(脱水汚泥)溶出・含有測定項目及び検査回数

検査場所	脱水汚泥		測定方法	
尾道市東尾道19番の1	溶出	含有	溶出測定	含有測定
測定項目				
水分含有率	1	1		環水大水発第120725002号(平24)
強熱減量	1	1		環水大水発第120725002号(平24)
アルキル水銀化合物	1	1	環告第59号(昭46)付表3	環水大水発第120725002号(平24)
水銀又はその化合物	1	1	環告第59号(昭46)付表2	環水大水発第120725002号(平24)
カドミウム又はその化合物	1	1	JIS K 0102-3 14.5	環水大水発第120725002号(平24)
鉛又はその化合物	1	1	JIS K 0102-3 13.5	環水大水発第120725002号(平24)
有機燐化合物	1	1	環告第64号(昭49)付表1	JIS K 0102-4 7.2.3
六価クロム化合物	1	1	JIS K 0102-3 24.3.1	環水大水発第120725002号(平24)
砒素又はその化合物	1	1	JIS K 0102-3 20.5	環水大水発第120725002号(平24)
シアン化合物	1	1	JIS K 0102-2 9.3.2,9.5	環水大水発第120725002号(平24)
ポリ塩化ビフェニル	1	1	環告第59号(昭46)付表4	環水大水発第120725002号(平24)
トリクロロエチレン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
テトラクロロエチレン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
ジクロロメタン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
四塩化炭素	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
1,2-ジクロロエタン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
1,1-ジクロロエチレン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
シス-1,2-ジクロロエチレン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
1,1,1-トリクロロエタン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
1,1,2-トリクロロエタン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
1,3-ジクロロプロペン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
チウラム	1	1	環告第59号(昭46)付表4	環告第59号(昭46)付表5
シマジン	1	1	環告第59号(昭46)付表5	環水大水発第120725002号(平24)
チオベンカルブ	1	1	環告第59号(昭46)付表5	環水大水発第120725002号(平24)
ベンゼン	1	1	JIS K 0125-5.2	環水大水発第120725002号(平24)
セレン又はその化合物	1	1	JIS K 0102-3 26.4	環水大水発第120725002号(平24)
1,4-ジオキサン	1	1	環告第59号(昭46)付表7	環告第59号(昭46)付表7
銅又はその化合物		1		環水大水発第120725002号(平24)
亜鉛又はその化合物		1		環水大水発第120725002号(平24)
弗化物		1		環水大水発第120725002号(平24)
クロム又はその化合物		1		環水大水発第120725002号(平24)
ニッケル又はその化合物		1		環水大水発第120725002号(平24)
フェノール類		1		環水大水発第120725002号(平24)

## 地下タンク及び埋設配管定期点検

### 1. 業務内容

本業務は、消防法第14条の3の2の規定に基づく製造所等の定期点検を実施する。  
受注者は危政令第8条の5に掲げる製造所等で地下タンク貯蔵所の定期点検及び埋設配管等の点検を行うものとする。

### 2. 業務場所

- (1) 尾道市東尾道19番地の1(尾道市浄化センター)
- (2) 尾道市久保一丁目27番1号(久保ポンプ場)

### 3. 実施年度

- (1) 尾道市浄化センターは、令和10年度に実施すること。
- (2) 久保ポンプ場は、令和9年度及び令和12年度に実施すること。

### 4. 対象施設

- (1) 尾道市浄化センター燃料地下タンク貯蔵所、容量3,000L(A重油)
- (2) 久保ポンプ場燃料地下タンク貯蔵所、容量5,000L(A重油)

### 5. 点検方法

- (1) 消防法第14条の3の2の規定に基づく点検を行うこと。
- (2) 点検箇所は、地下タンク本体及び地下埋設配管とする。
- (3) 点検は、危険物の規則に関する規則第62条の6に定める者が行うこと。

### 6. 点検内容

- (1) 点検内容は、製造所等の定期点検に関する指導指針の整備について(平成3年5月28日付消防危第48号消防庁危険物規制課長通知)によること。

### 7. 報告書

報告書は点検終了後、速やかに提出すること。

- (1) 点検結果報告書(点検記録表)
- (2) 点検写真帳

### 5. その他

- (1) 軽微な部品交換等は受託者の負担とする。
- (2) 既設建物及び工作物の養生に十分留意し、破損した場合は受託者の負担において元どおりに補修すること。
- (3) 点検の結果、設備の補修及び改修を要する事項がある場合は、その方法等について、指導・助言を行うこと。